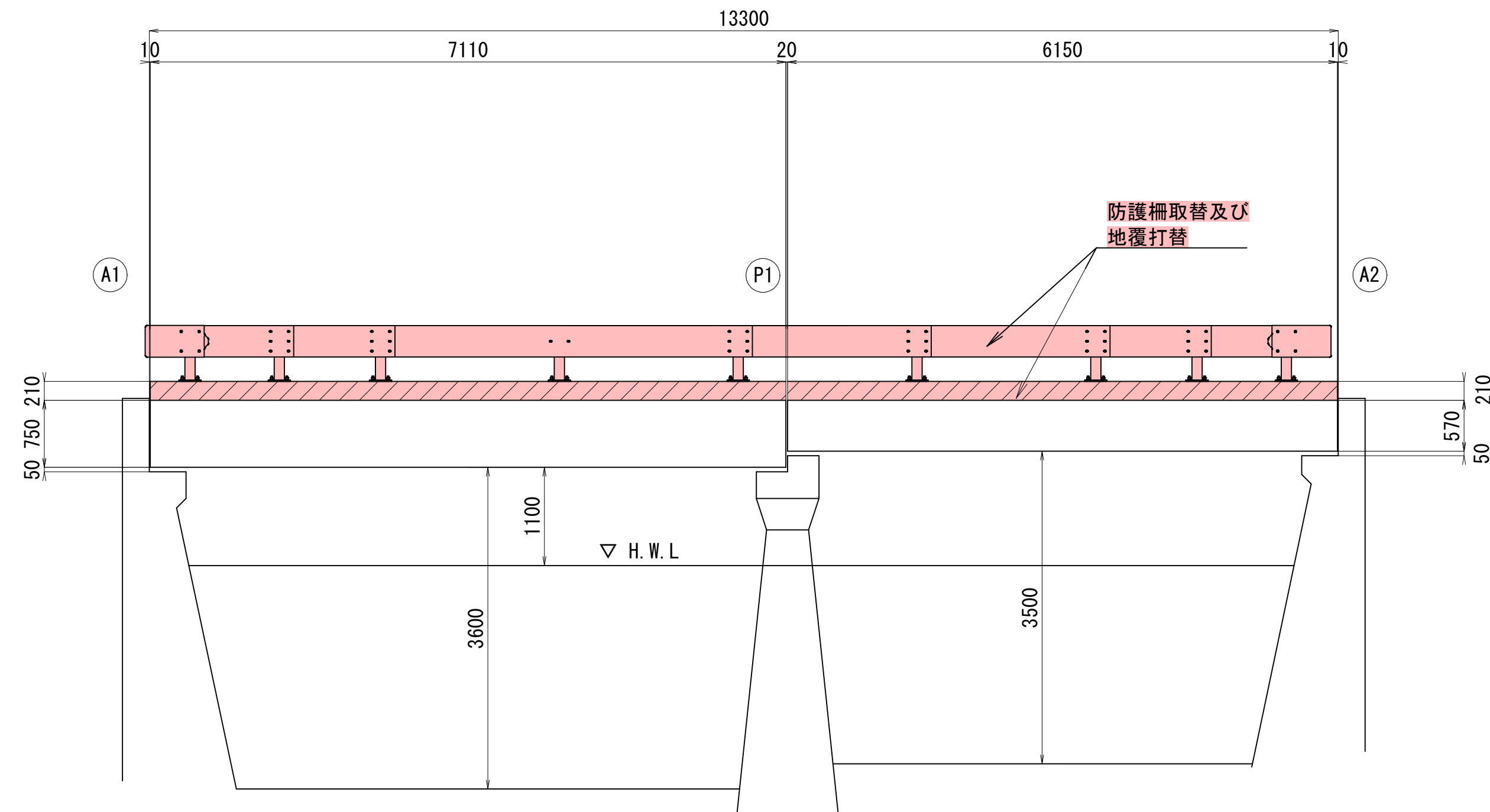
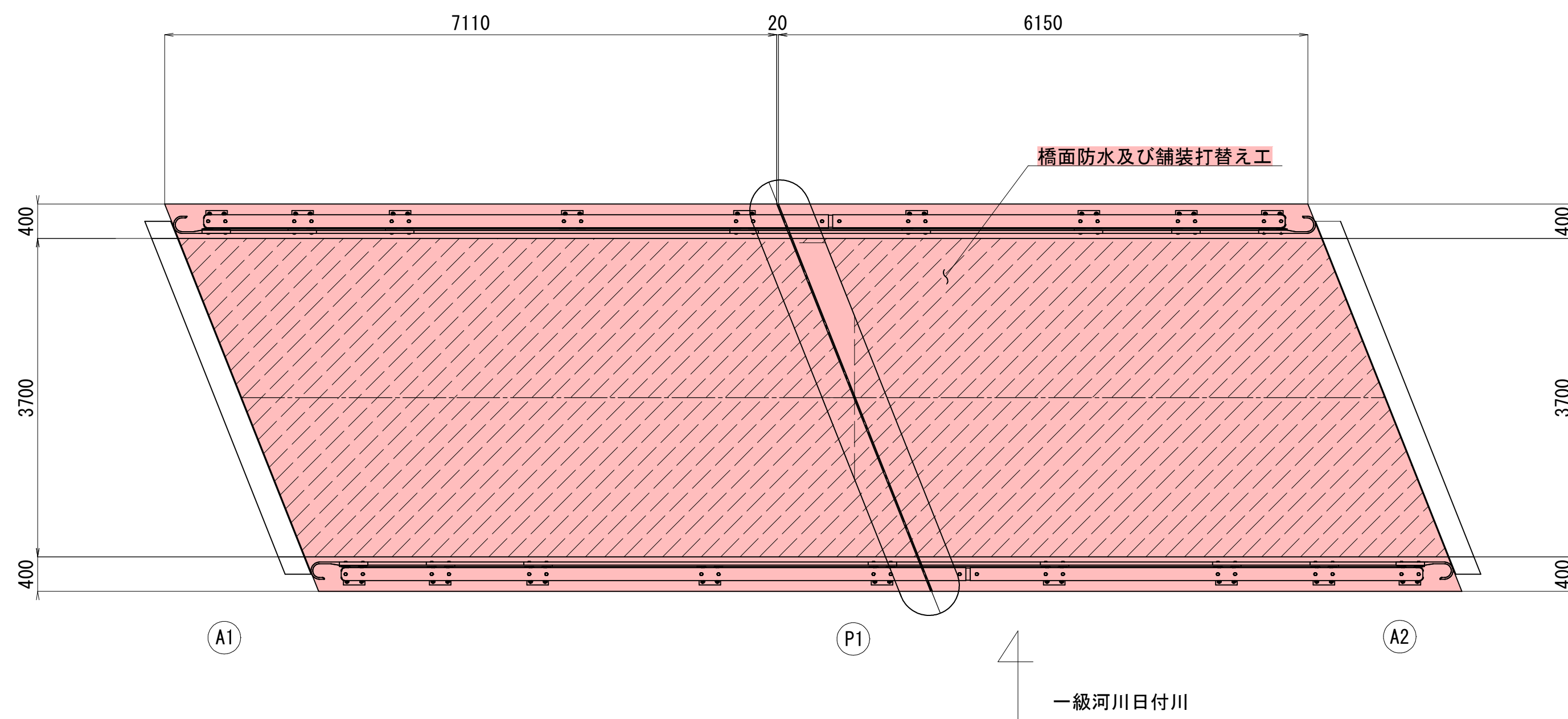


上原橋 補修一般図

側 面 図 S=1:50

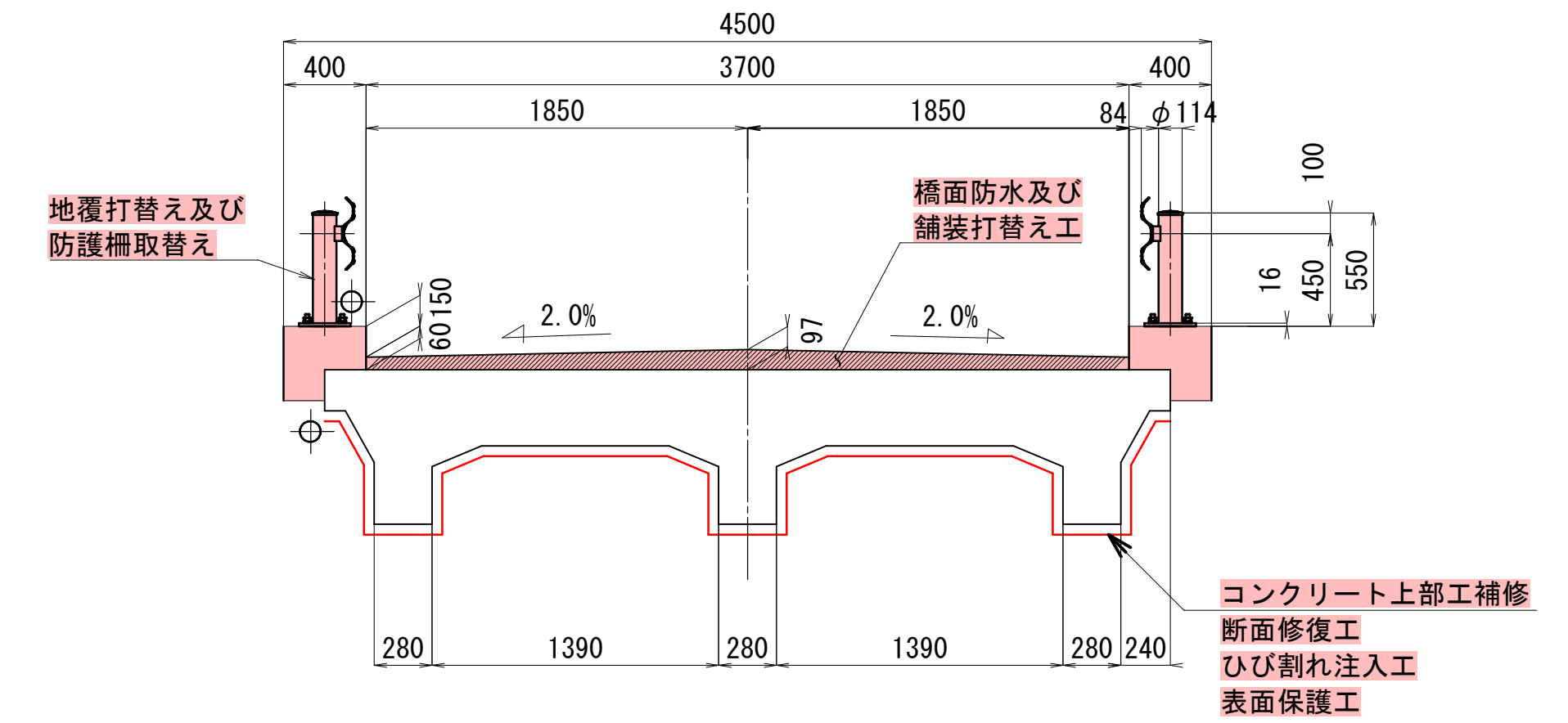


平面图 S=1:50

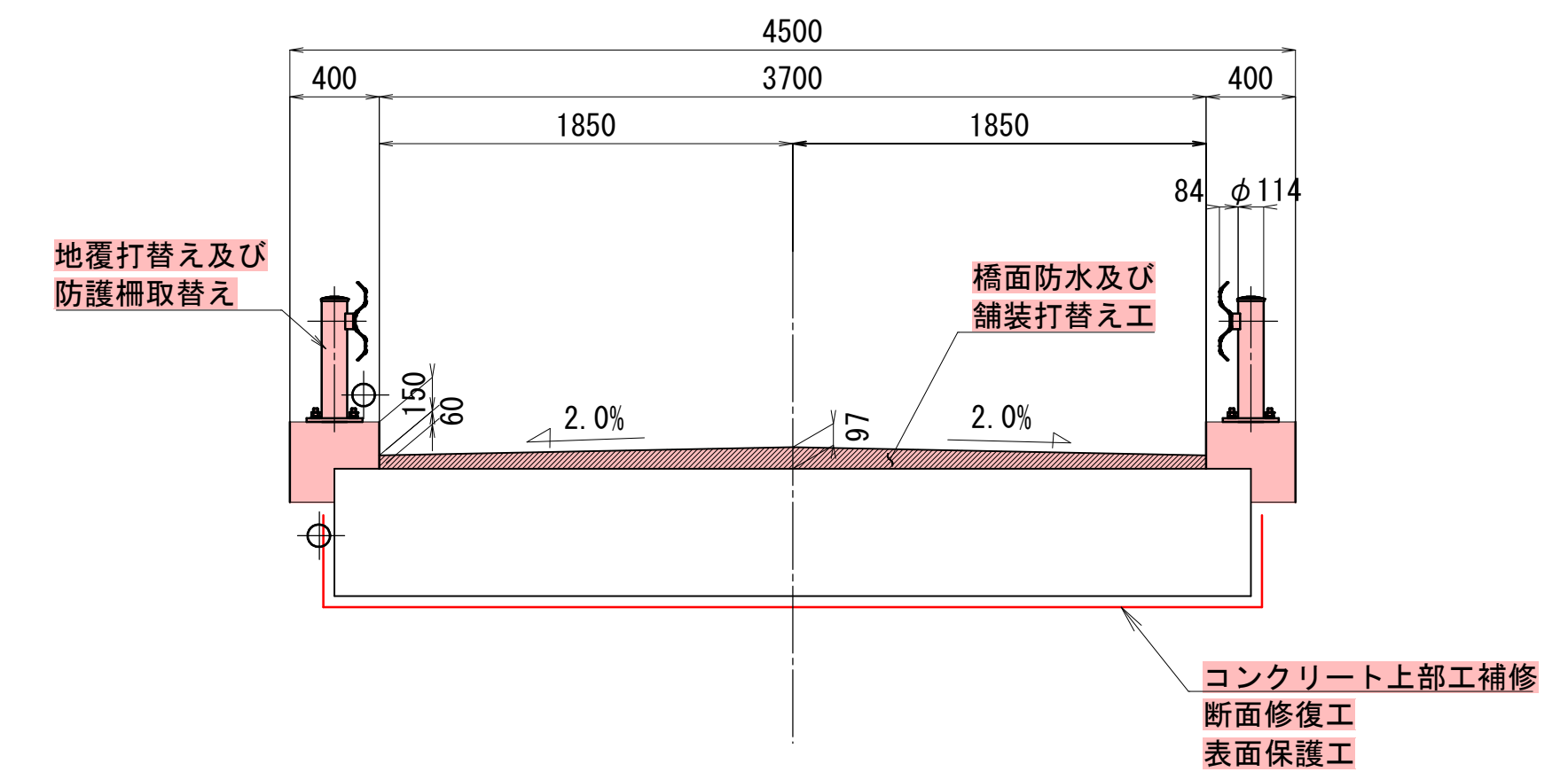


断面図 S=1:30

第 1 徑間



第2 径間



補修項目

補修項目		単位	数量	規格・仕様
コンクリート上部工補修	断面修復工	m3	0.0086	ポリマーセメントモルタル(左官工法) σ _{ck} =24N/mm2
		m2	0.121	マクロセル腐食対策：鉄筋腐食抑制型シラン系含浸材
	ひび割れ注工	m	0.30	土木補修用エポキシ樹脂注入材3種
	表面保護工	m2	75.16	鉄筋腐食抑制型シラン系含浸材 (中性化抑制に効果がある材料)
橋面防水及び舗装打替え工		m2	49.1	塗膜系 基層：密粒度アスコン(新13FH)改質Ⅰ型 表層：密粒度アスコン(新20FH)改質Ⅰ型
地覆打替え及び防護柵取替え工		m	26.5	車両用防護柵(ガードレールタイプ) (7.11+6.15)×2=26.5

注記
1) 工事の実施にあたっては現地を必ず確認し、
図面と相違がある場合は現地を優先して施
工に反映させること。

実施設計図

令和4年度 工事番号 4橋梁第1号			
その他市道 島北川端1号線		経 営 市 筋 魚 沼	今 泉 地 内
市道島北川端1号線 上原橋補修工事			
上原橋 補修一般図			
縮 尺	図 示	図面全 12 葉の 3	
測 量		年 月	主 任 技 術 者
設 計	開発技建 株式会社	令和3年3月	主 任 技 術 者
魚沼市			

上原橋 橋梁一般図
現況

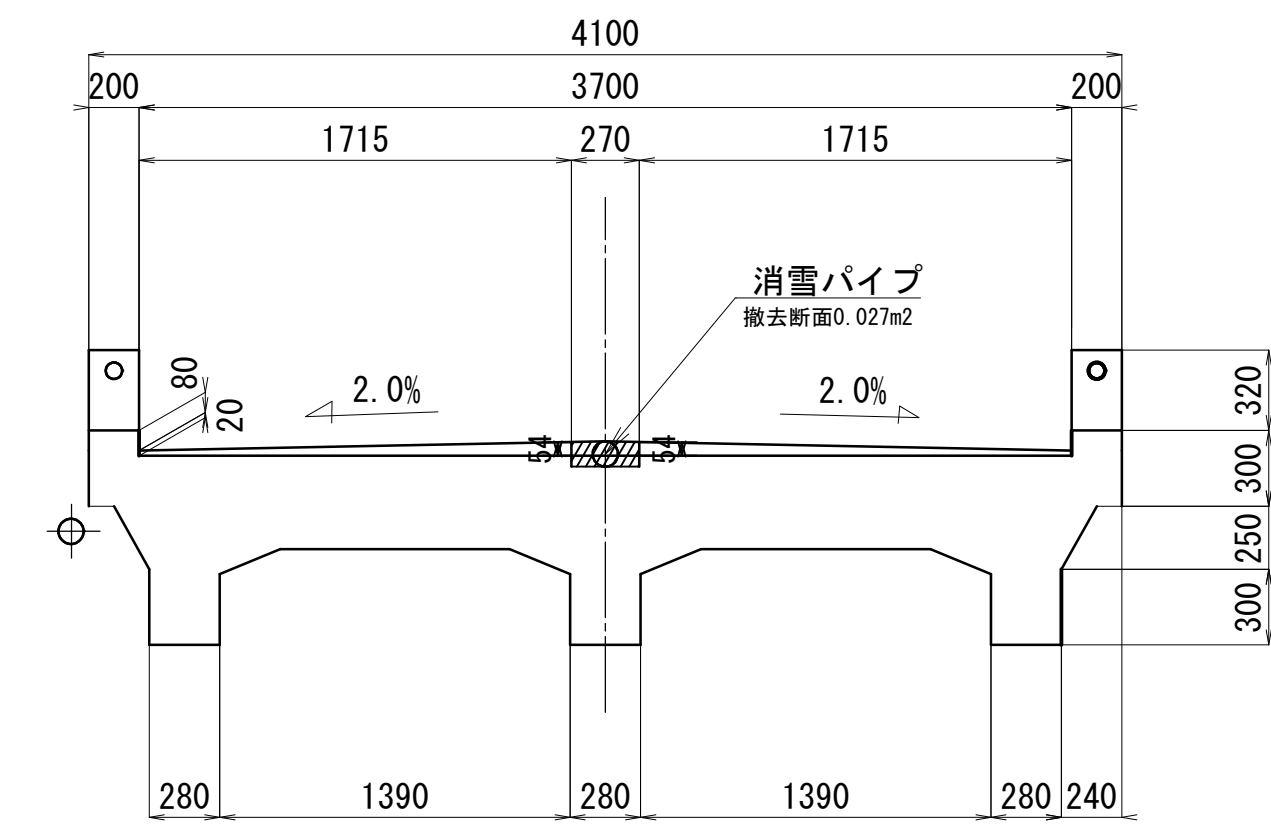
側面図 S=1:50

断面図 S=1:30

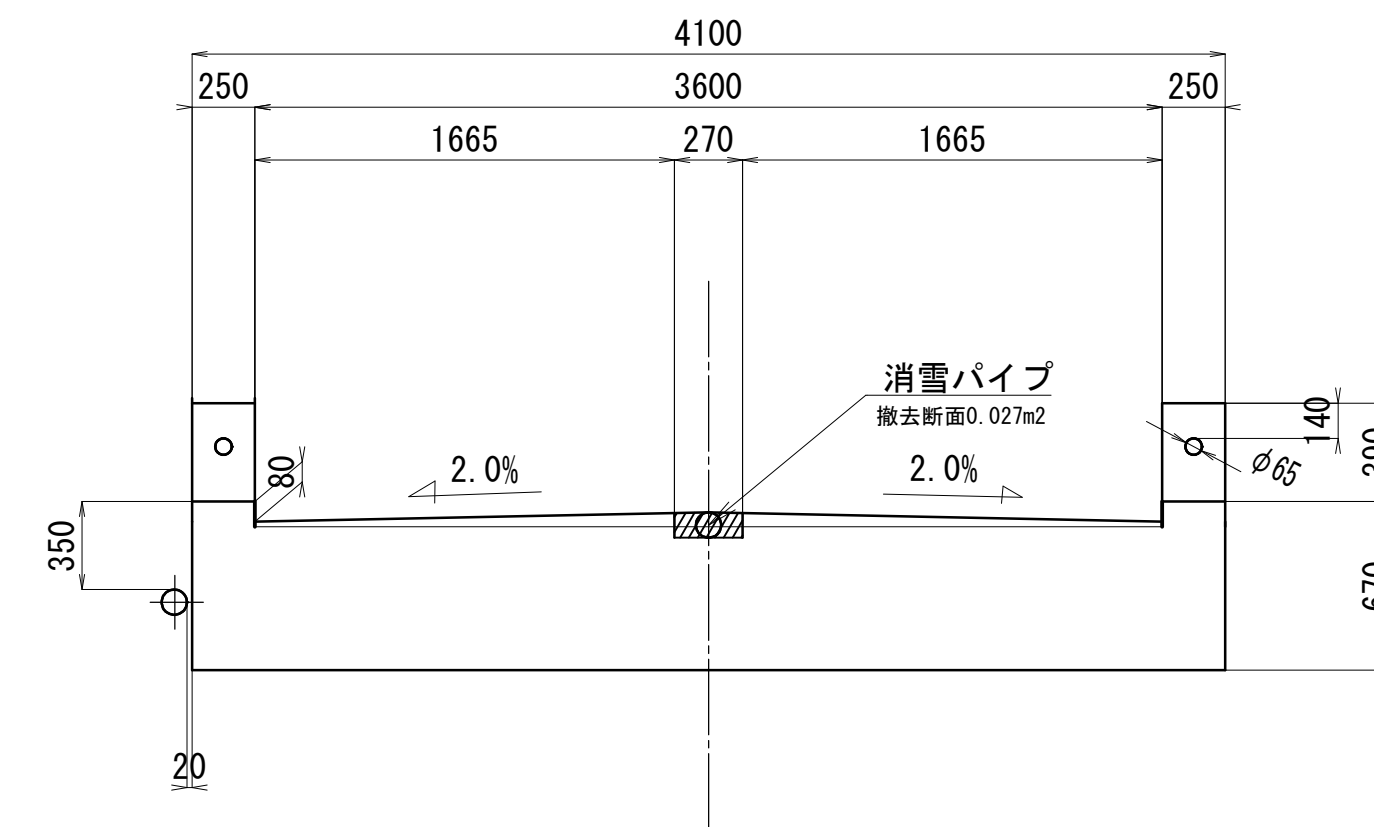
＜第1径間＞

＜第2径間＞

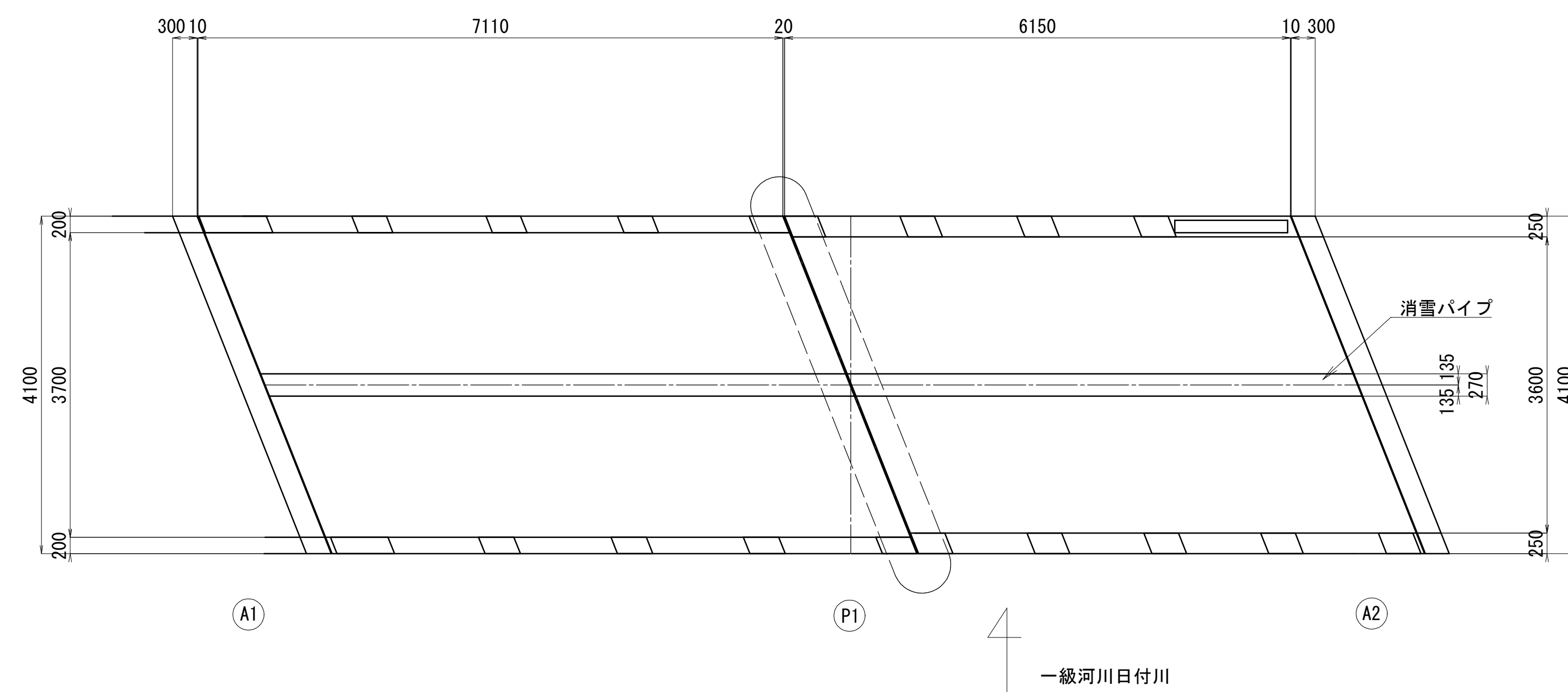
＜第1径間＞



＜第2径間＞



平面図 S=1:50



設計条件

構造形式	Rc床版橋+RcT桁橋
橋長	13,300
桁長	7,110+6,150
有効巾員	3,700(第1径間)、3,600(第2径間)
全市員	4,100
活荷重	不明
雪荷重	100kg/m²(推定)
舗装	アスファルト舗装
横断勾配	2.0% 拌み勾配
斜角	なし

注記)

- 本図面は、過年度橋梁点検報告書に添付されている橋梁一般図をもとに、現地で部材寸法を計測し作成したものである。
- 計画高水位(HWL)は河川協議により決定した位置を記載している。

実施設計図

令和4年度 工事番号 4橋梁第1号				
その他市道	線	町	今泉	地内
島北川端1号	筋	魚沼市		
市道島北川端1号線 上原橋補修工事				
上原橋 橋梁一般図				
縮尺	図示	図面全 12 葉の 2		
測量		年 月	主任 技術者	
設計	開発技建株式会社	令和3年3月	主任 技術者	
魚沼市				

上原橋 コンクリート上部工補修図（その１） S=1:50

第1径間（A1～P1）

桁 下 図 S=1:50

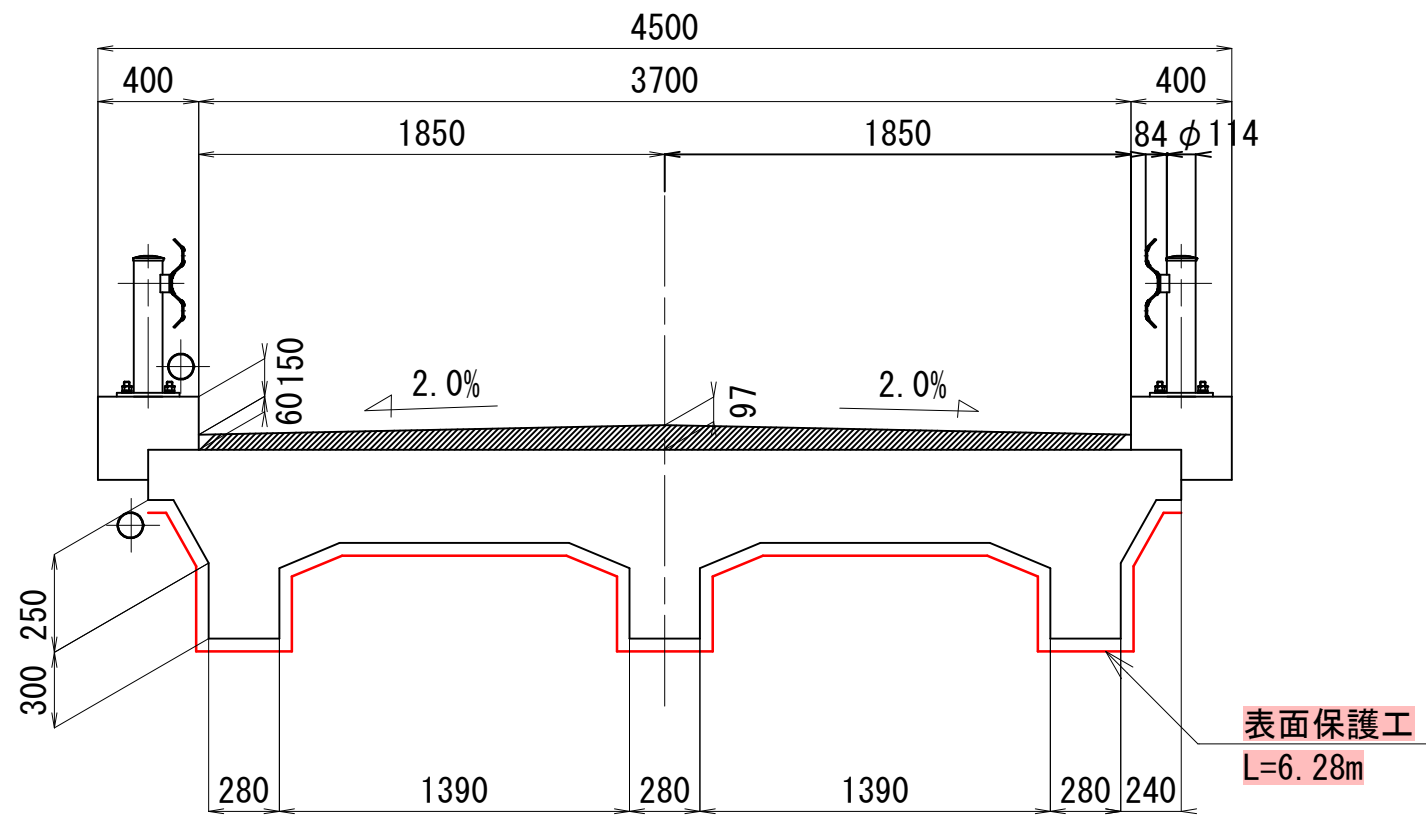
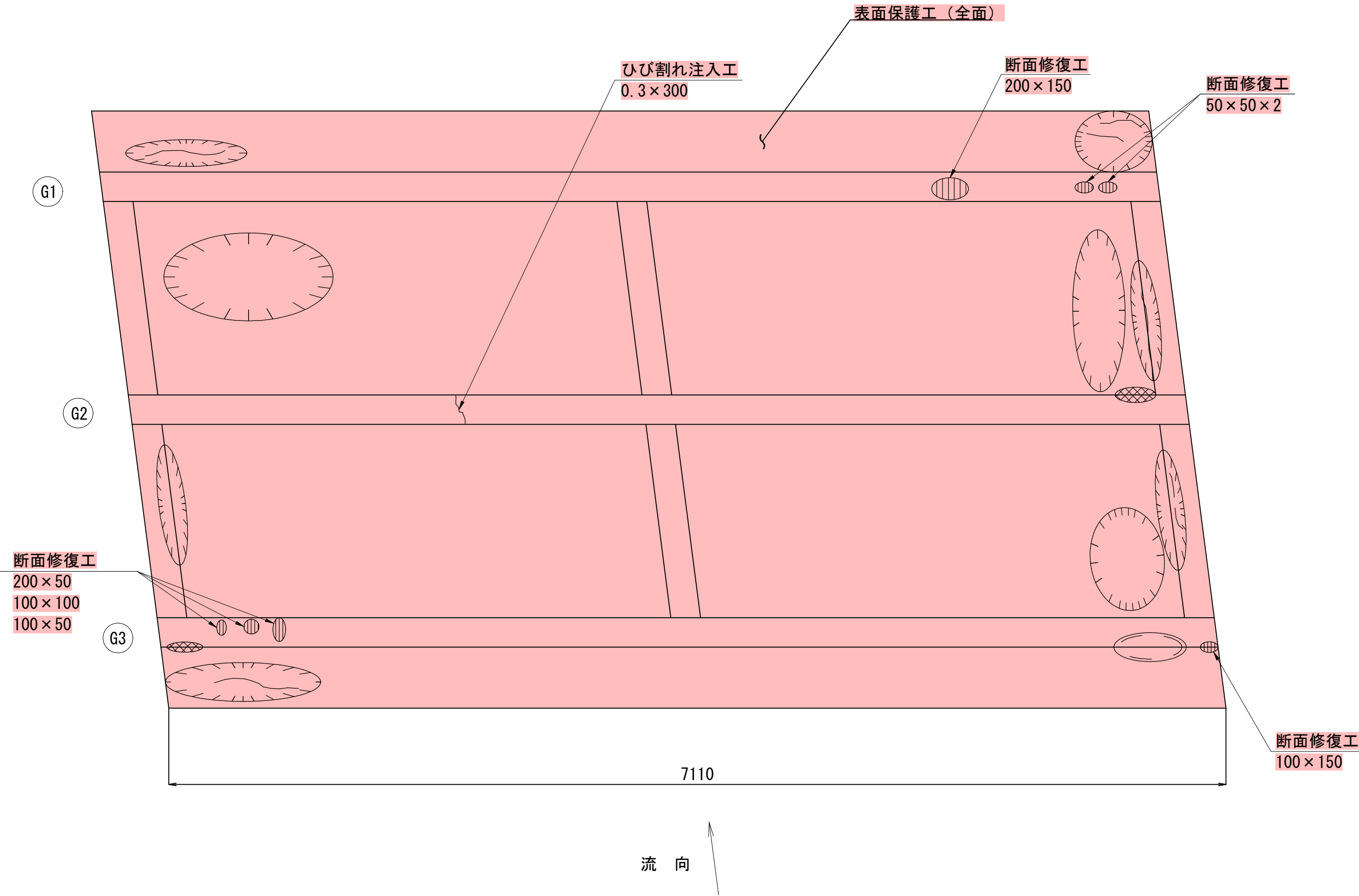
断 面 図 S=1:30

至 国道252号
起点側

至 県道 小出守門線
終点側

A1

P1



損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		漏 水	
剥 離		変形・欠損	
鉄筋露出		豆 板	
遊離石灰		すり減り・侵食	
う き		そ の 他	

断面修復工（左官工法） 数量表

番号	位置	損傷の種類	寸法 La×Lb (mm)	はつり深さ (mm)	箇所数	面積 A ₁ (m ²)	体積 V ₁ (m ³)
1	G1主桁	鉄筋露出	200 × 150	70	1	0.030	0.0021
2	"	"	50 × 50	70	1	0.003	0.0002
3	"	"	50 × 50	70	1	0.003	0.0002
4	G3主桁	"	200 × 50	70	1	0.010	0.0007
5	"	"	100 × 100	70	1	0.010	0.0007
6	"	"	100 × 50	70	1	0.005	0.0004
7	"	"	100 × 150	70	1	0.015	0.0011
					第1径間 計	0.076	0.0054

ひび割れ注入工 数量表

番号	位置	幅 W(mm)	長 L(mm)	箇所数	合計L(m)
1	G2主桁	0.3	300	1	300 mm
		第1径間 計			0.3 m

表面保護工 数量表

番号	位置	計算式	面積 A(m ²)
1	主桁下面	A1= 6.28×7.11	44.65
		第1径間 計	44.65

上部工（第2径間） 材料表

種 別	規 格 ・ 仕 様	単 位	数 量	備 考
断面修復工	ポリマーセメントモルタル（左官工法） σ _{ok} =24N/mm ²	m ³	0.0054	ロス率 別途考慮
	マクロセル腐食対策：鉄筋腐食抑制型シラン系含浸材	m ²	0.076	
ひび割れ注入工	土木補修用エポキシ樹脂注入材3種	m	0.30	
表面保護工	鉄筋腐食抑制型シラン系含浸材 （中性化抑制に効果がある材料）	m ²	44.65	

注記

- 1) 工事の実施にあたっては現地を必ず確認し、図面と相違がある場合は現地を優先して施工に反映させること。
- 2) 断面修復時のはつり深さは、鉄筋背面側20mmのはつり深さを想定し、70mmとした。（鉄筋芯かぶり40mm+鉄筋径16/2+20mm≒70mm）
- 3) ひび割れ注入工は、W=0.2mm以上のひび割れを対象としている。
- 4) 表面保護工は、コンクリート表面に遊離石灰や汚れが付着している場合はケレン等で除去してから実施すること。

実施設計図

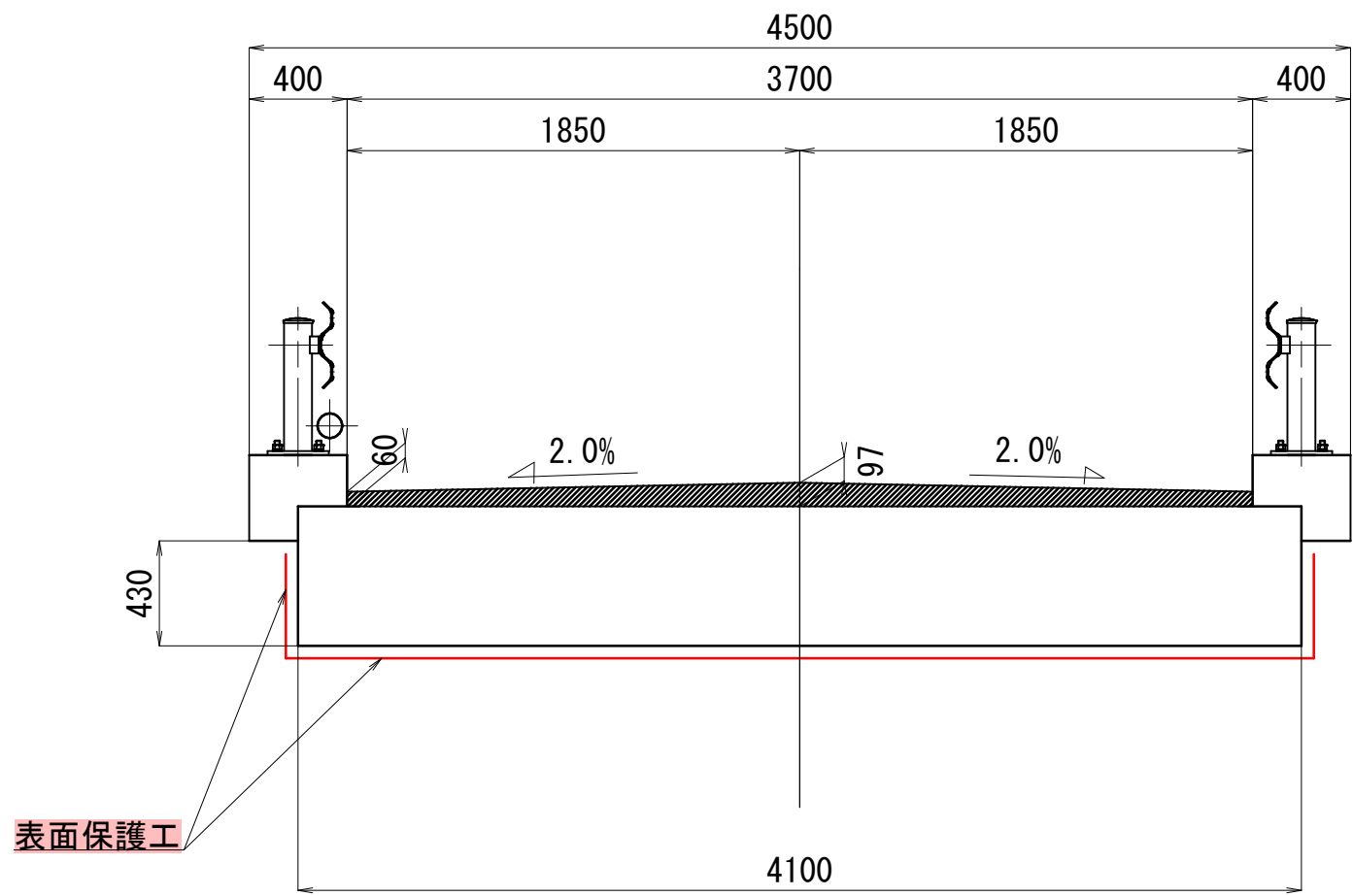
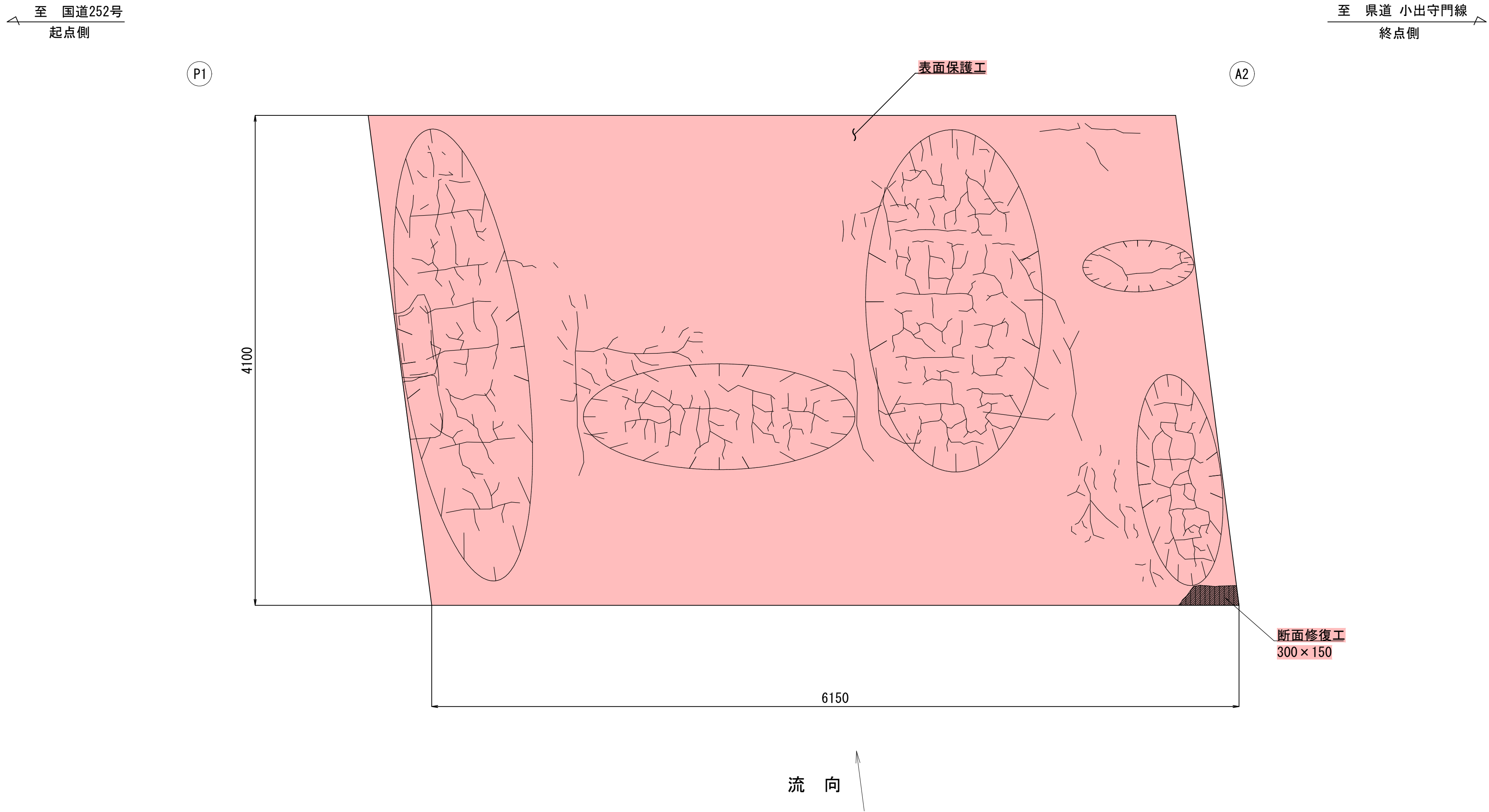
令和4年度 工事番号 4橋梁第1号				
その他市道	（線）	魚沼	（町）	今泉 地内
島北川端1号 筋			市	
市道島北川端1号線 上原橋補修工事				
上原橋 コンクリート上部工補修図（その１）				
縮 尺	図 示	図面全 12 葉の 4		
測 量		年 月	主 任 技術者	
設 計	開発技建株式会社	令和3年3月	主 任 技術者	
魚沼市				

上原橋 コンクリート上部工補修図(その2)

第2径間 (P1～A2)

桁 下 図 S=1:50

断 面 図 S=1:30



損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		漏 水	
剥 離		変形・欠損	
鉄筋露出		豆 板	
遊離石灰		すり減り・侵食	
う き		そ の 他	

- 注記
- 1) 工事の実施にあたっては現地を必ず確認し、図面と相違がある場合は現地を優先して施工に反映させること。
 - 2) 断面修復時のはつり深さは、鉄筋背面側20mmのはつり深さを想定し、70mmとした。(鉄筋芯かぶり40mm+鉄筋径16/2+20mm≒70mm)
 - 3) 表面保護工は全面とする。
 - 4) 表面保護工は、コンクリート表面に遊離石灰や汚れが付着している場合はケレン等で除去してから実施すること。

断面修復工(左官工法) 数量表

番号	位置	損傷の種類	寸法 La×Lb (mm)	はつり深さ (mm)	箇所数	面積 A ₁ (m ²)	体積 V ₁ (m ³)
1	主桁	鉄筋露出	300 × 150	70	1	0.045	0.0032
第2径間 計						0.045	0.0032

表面保護工 数量表

番号	位置	計算式	面積 A (m ²)
1	主桁下面	A1= 4.10×6.15	25.22
2	主桁側面	A2= 0.43×6.15×2	5.29
第2径間 計			30.51

上部工(第2径間) 材料表

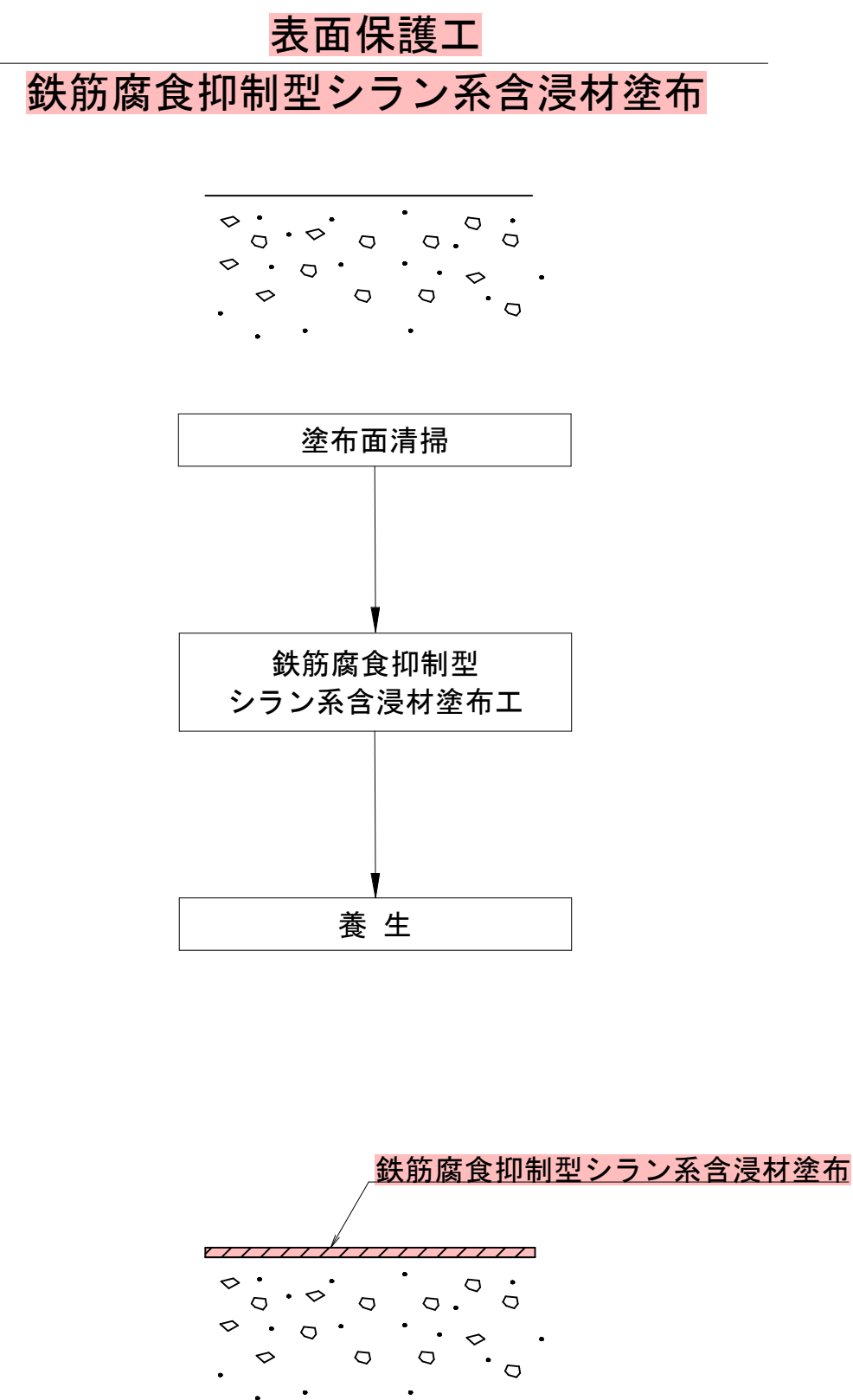
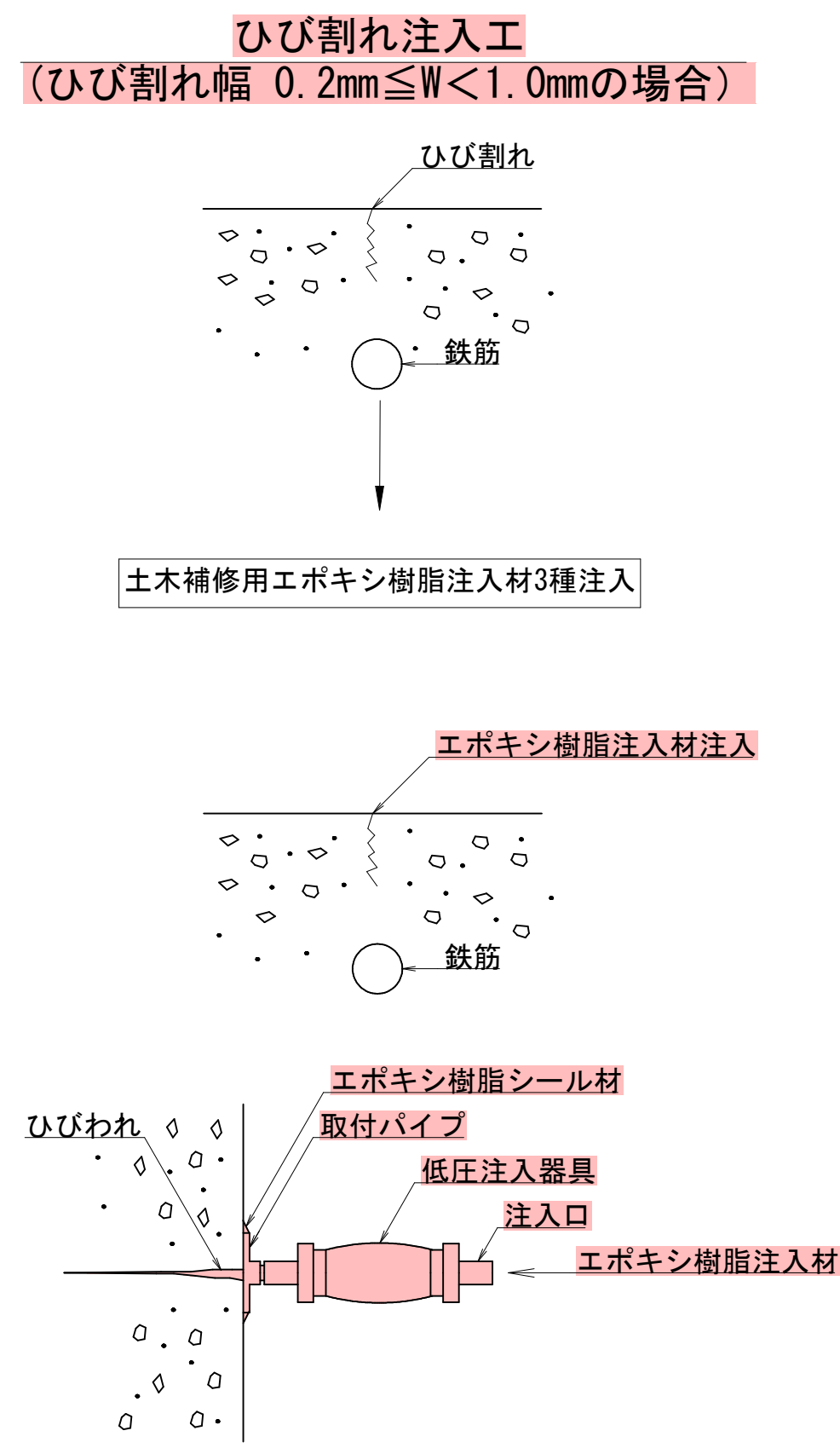
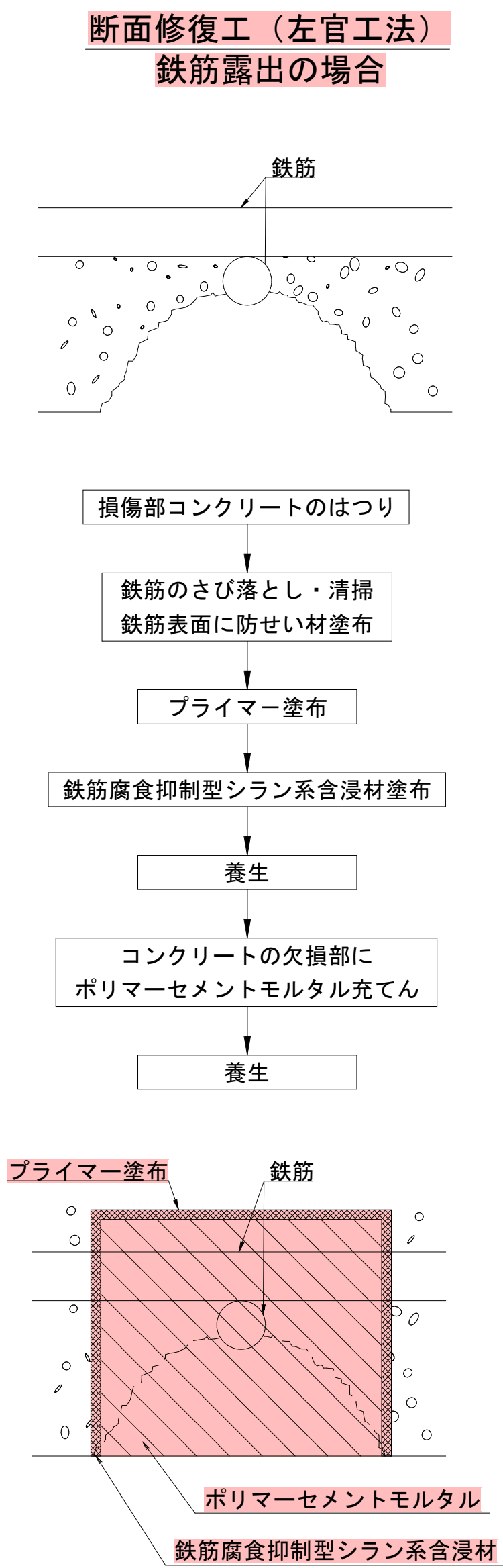
種 別	規 格 ・ 仕 様	単 位	数 量	備 考
断面修復工	ポリマーセメントモルタル (左官工法) σ _{ck} =24N/mm ²	m ³	0.0032	ロス率 別途考慮
	マクロセル腐食対策：鉄筋腐食抑制型シラン系含浸材	m ²	0.045	
表面保護工	鉄筋腐食抑制型シラン系含浸材 (中性化抑制に効果がある材料)	m ²	30.51	

実施設計図

令和4年度 工事番号 4橋梁第1号				
その他市道 島北川端1号	線 筋	魚沼市	町 今泉	地内
市道島北川端1号線 上原橋補修工事				
上原橋 コンクリート上部工補修図 (その2)				
縮 尺	図 示	図面全 12 葉の 5		
測 量		年 月	主 任 技術者	
設 計	開発技建 株式会社	令和3年3月	主 任 技術者	
魚沼市				

上原橋 コンクリート上部工補修図（その3） S=1:100

補修手順図



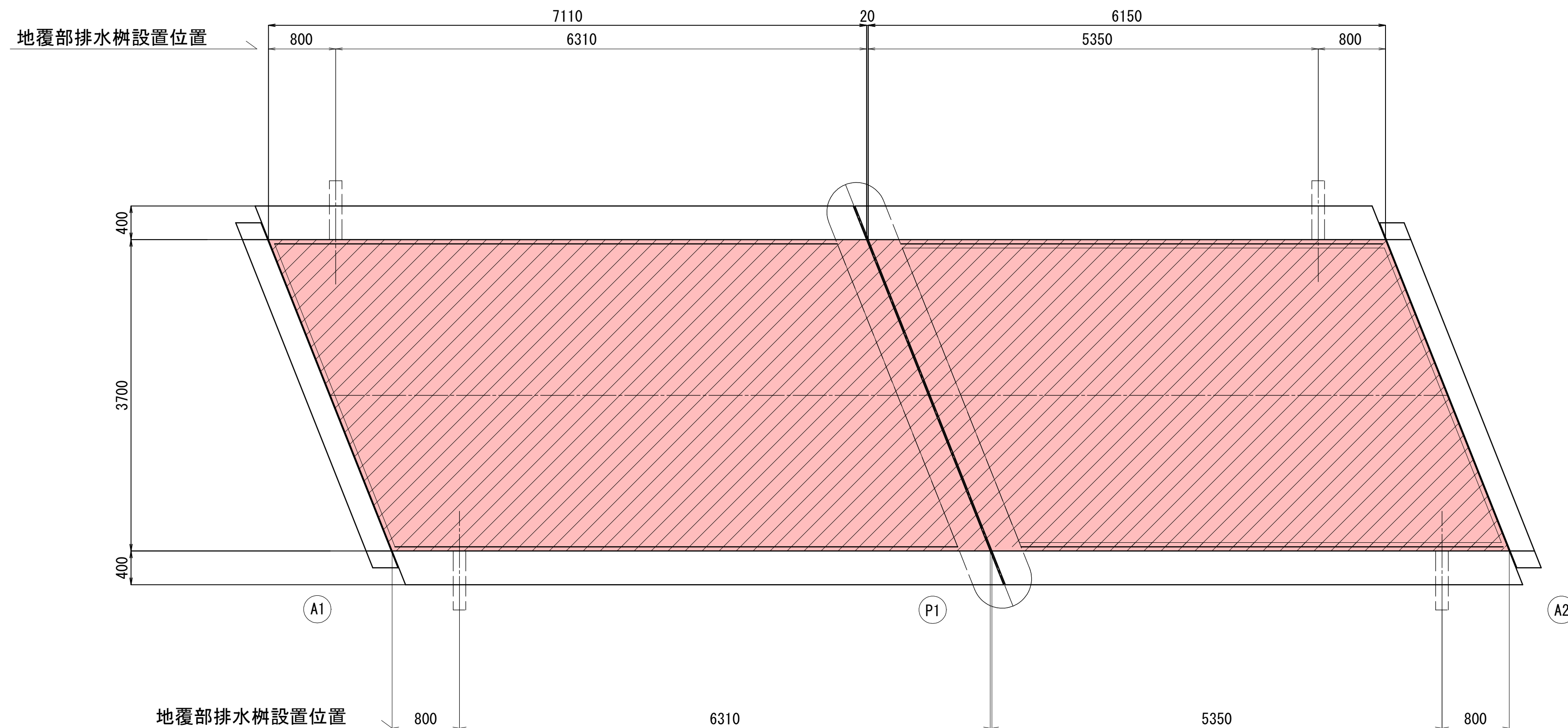
注記
1) 工事の実施にあたっては現地を必ず確認し、
図面と相違がある場合は現地を優先して施
工に反映させること。

実施設計図

令和4年度 工事番号 4橋梁第1号				
その他市道 (線) 島北川端1号 筋	魚沼 (町) 市	今泉	地内	
市道島北川端1号線 上原橋補修工事				
上原橋 コンクリート上部工補修図（その3）				
縮 尺	S=1:100	図面全 12 葉の	6	
測 量		年 月	主 任 技術者	
設 計	開発技建 株式会社	令和3年3月	主 任 技術者	
魚沼市				

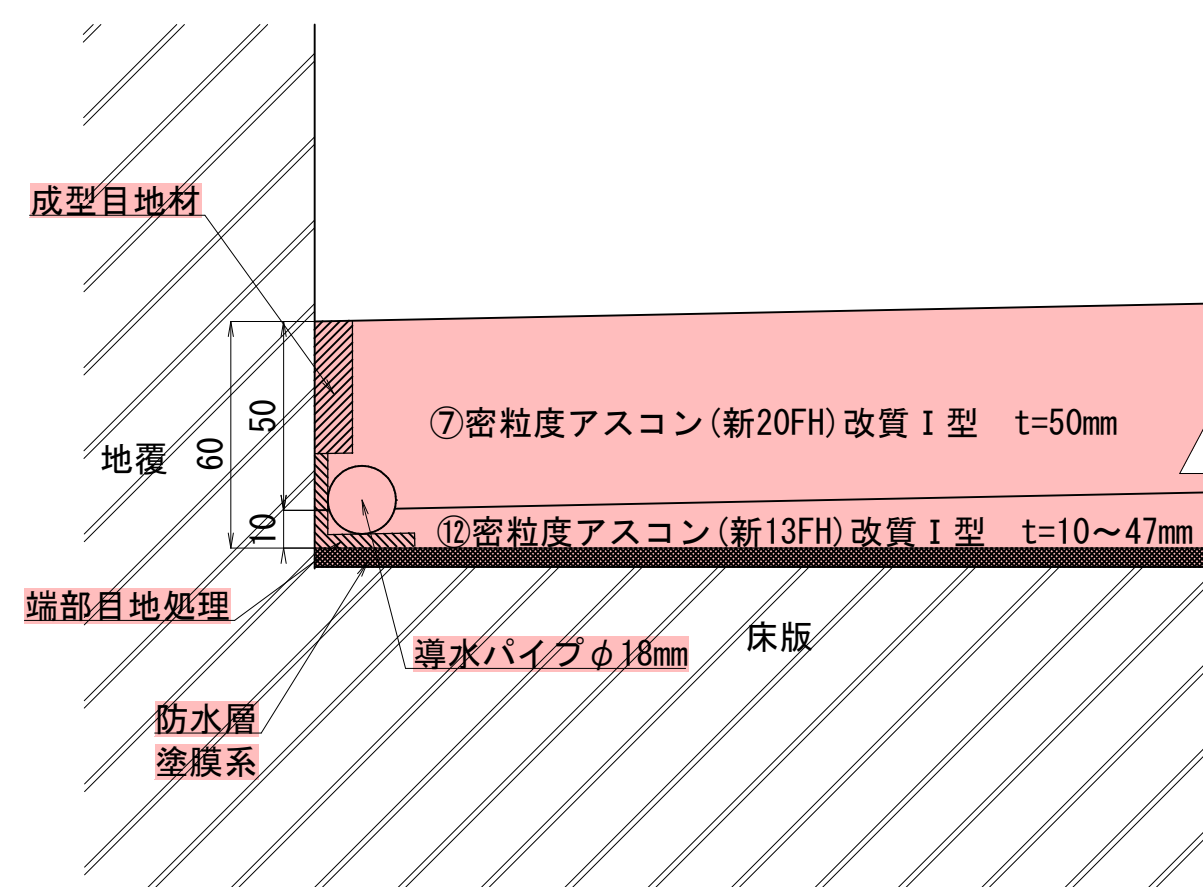
上原橋 橋面防水及び舗装打替図

平面图 S=1:40



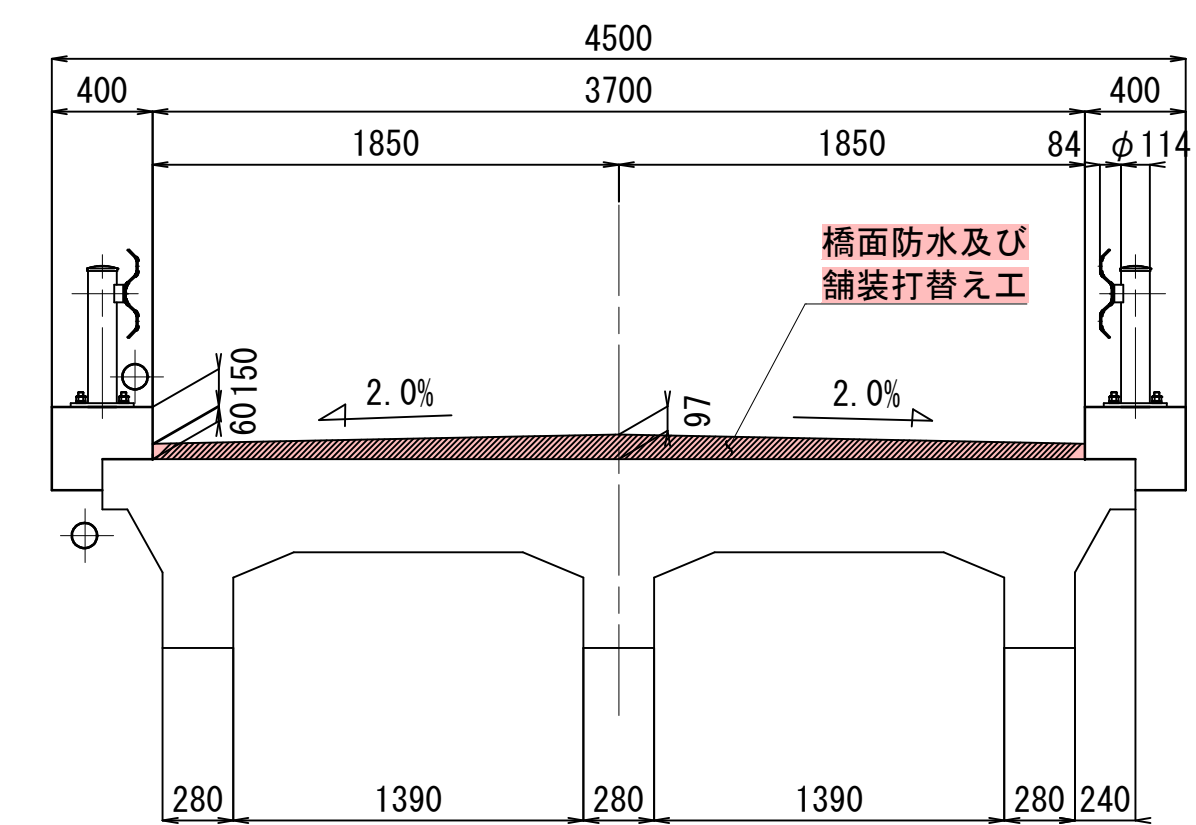
一級河川日付川

防水層詳細図 S=1:2

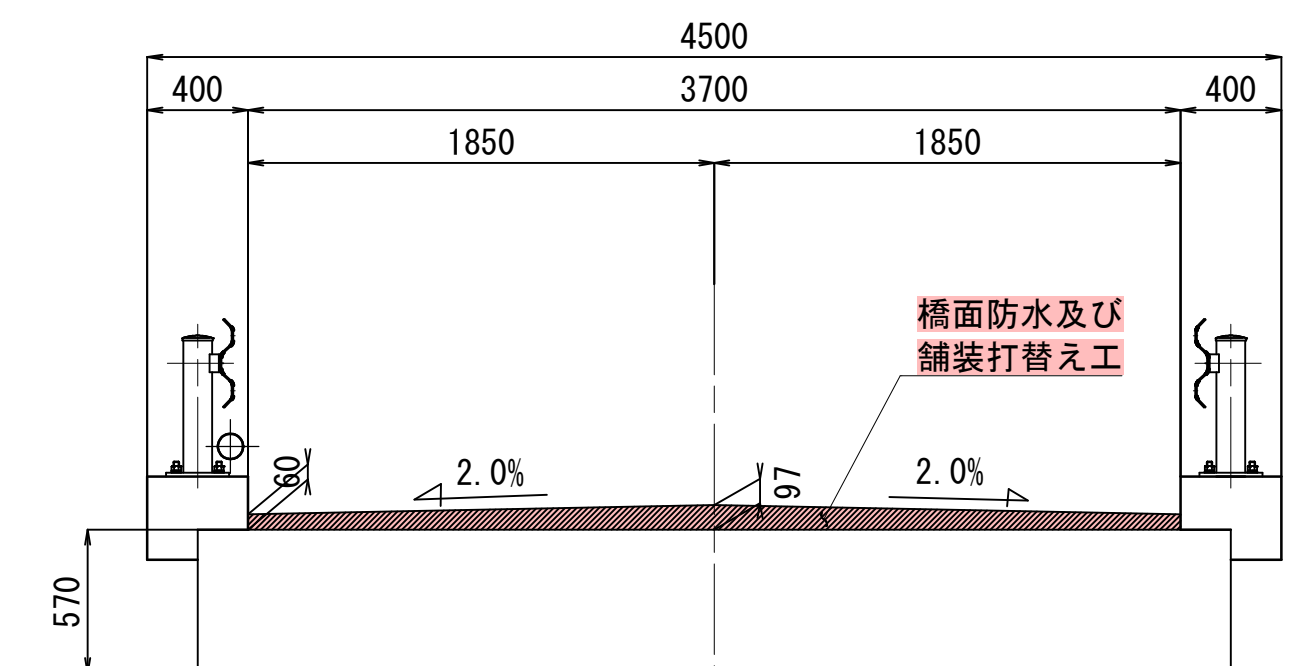


断面図 S=1:30

第 1 径間



第2 径間



注記)

- 1) 工事の実施にあたっては現地を必ず確認し、図面と相違がある場合は現地を優先して施工に反映させること。
- 2) 現況舗装厚が現地にて異なる場合には監督員と協議の上、設計変更にて対応のこと。
- 3) コンクリート床版上面に土砂化等による脆弱部が確認された場合は、脆弱部をはつり取り、ポリマーセメントモルタル等で修復し、床版上面を平滑に仕上げたから橋面防水を行うこと。その際、鉄筋露出が確認された場合は、防錆処理、マクロセル腐食対策を実施すること。
- 4) 舗装打ち替え後の橋梁部の路面高さに合わせてすり付けを行うこと。
- 5) 舗装に埋め込まれている既存の消雪パイプは撤去する計画とされているが、詳細が不明なため、監督員と協議を行った上で撤去作業を実施すること。
- 6) 排水口の前面の舗装厚は30mmとし、周囲の舗装厚60mmとすり付けを行うこと。

床版防水工材料表

名 称	仕 様	単 位	数 量	備 考
防 水 層	塗膜系	m ²	49.1	
導水パイプ	φ18	m	26.5	
目地材	舗装用成型目地材 (t=5mm)	m	26.5	

アスファルト舗装工

名 称	仕 様	単 位	数 量	備 考
切 削 工		m ³	49.1	t=30～50mm
舗 装 工	密粒度アスコン(新13FH)改質Ⅰ型	m ²	49.1	t=10～47mm
	密粒度アスコン(新20FH)改質Ⅰ型	m ²	49.1	t=50mm

実施設計図

令和4年度		工事番号		4橋梁第1号	
その他市道		(線)	(町)		
島北川1号		筋	魚沼市	今泉	地内
市道島北川端1号線 上原橋補修工事					
上原橋 橋面防水及び舗装代替図					
縮尺	図示	図面全 12 葉の 7			
測量		年 月	主任技術者		
設計	開発技建株式会社	令和3年3月	主任技術者		
魚沼市					

防護柵配置図

防護柵長 13264

The drawing illustrates a bridge structure with the following details:

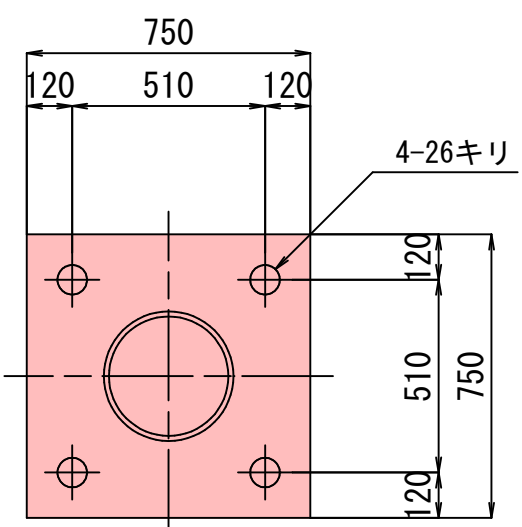
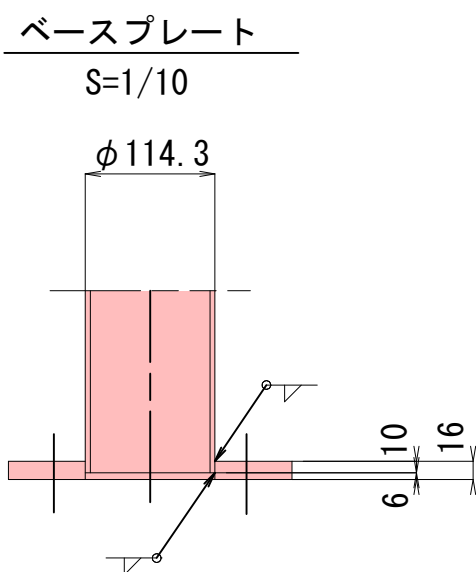
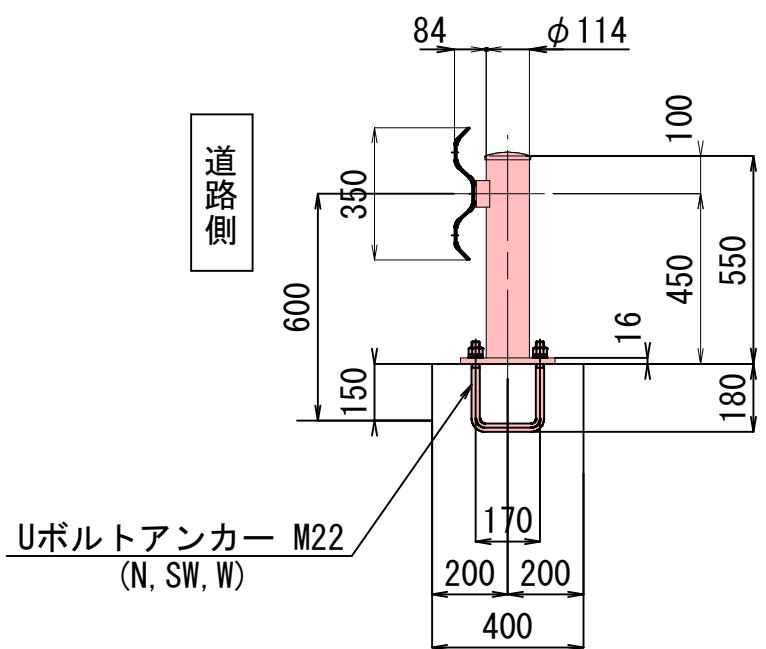
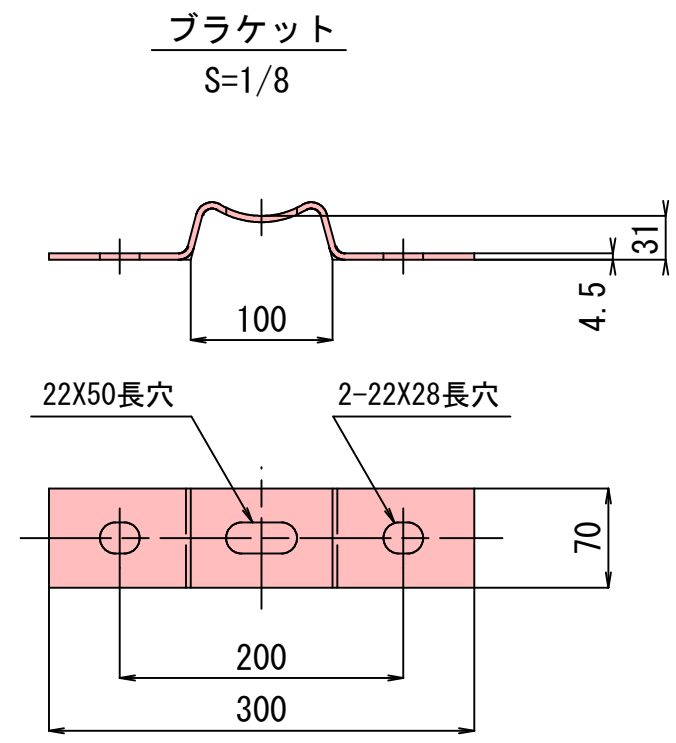
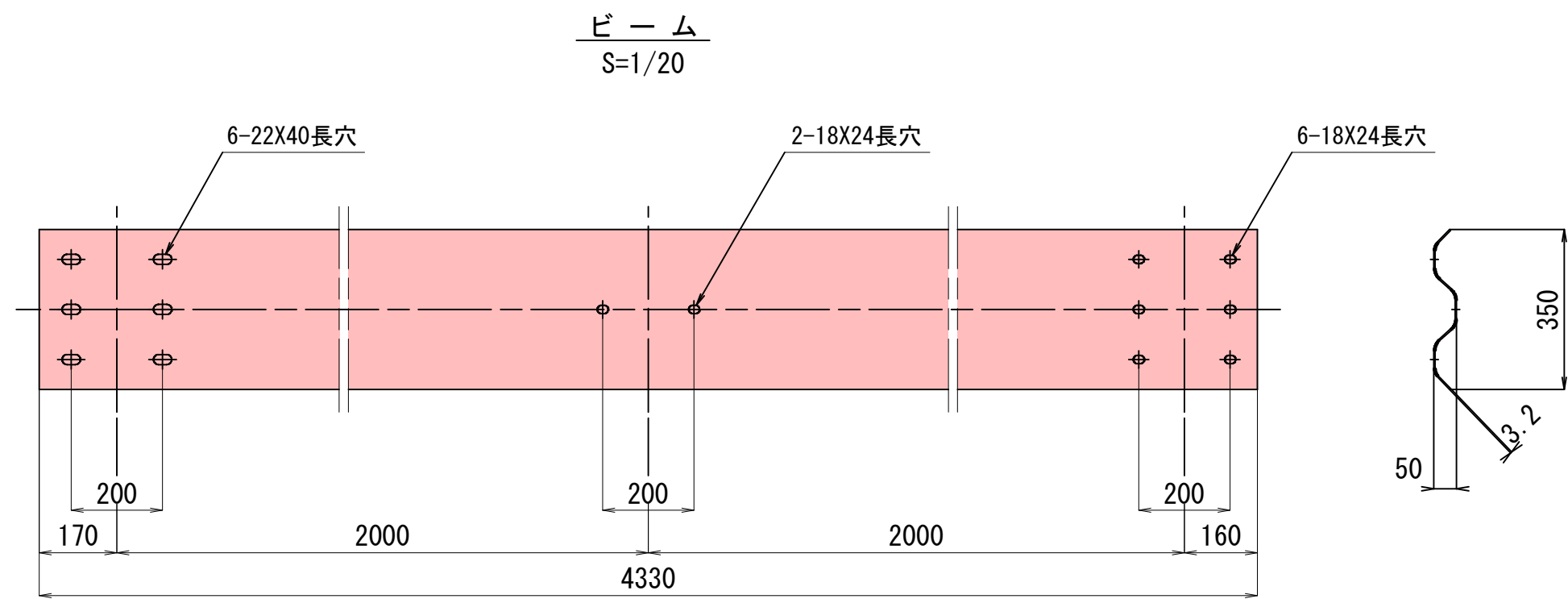
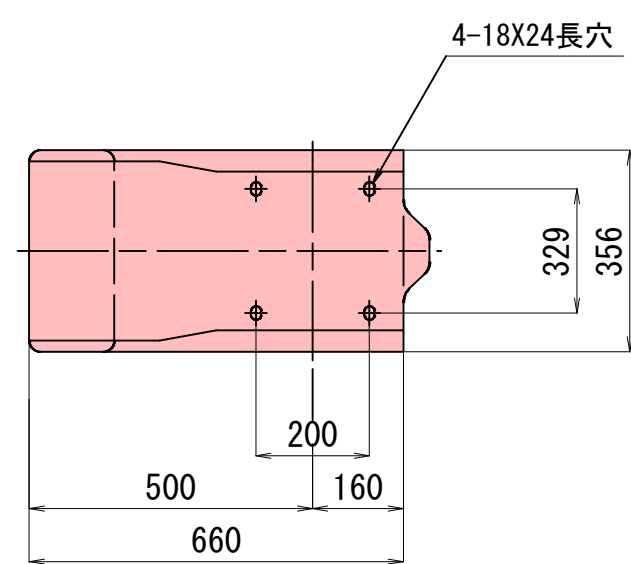
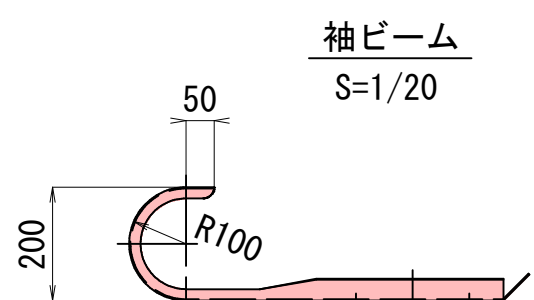
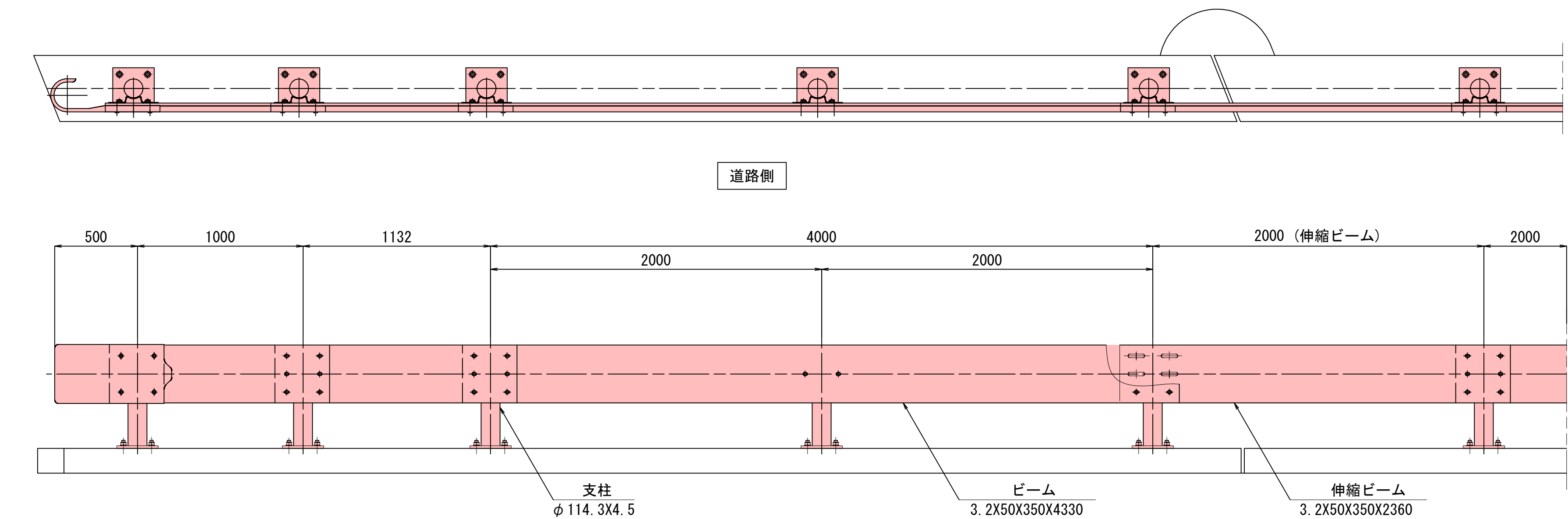
- Plan View (Top):** Shows the bridge deck with a total length of 13,300. It includes a central section of 2,000 (伸縮ビーム) and two side sections of 2,000. The total length of the bridge deck is 13,264. The bridge is supported by 4@2000=8000. The bridge is labeled with "A" at both ends and "P1" in the center.
- Elevation View (Bottom):** Shows the bridge structure with a total height of 4,500. It includes a central section of 2,000 (伸縮ビーム) and two side sections of 2,000. The total length of the bridge deck is 13,264. The bridge is supported by 4@2000=8000. The bridge is labeled with "A1" at the left end and "A2" at the right end.
- Dimensions:** The bridge has a total length of 13,300 and a total height of 4,500. The bridge deck is 13,264 long. The bridge is supported by 4@2000=8000.
- Labels:** The bridge is labeled with "A" at both ends and "P1" in the center. The bridge is also labeled with "A1" and "A2" at the ends of the elevation view.

実施設計図

令和4年度 工事番号 4橋梁第1号			
その他市道 島北川端1号	線 筋	魚沼 市	今泉 地内
市道島北川端1号線 上原橋補修工事			
上原橋 防護欄詳細図 (その1)			
縮 尺	S=1:30	図面全 12 葉の	8
測 量		年 月	主任 技術者
設 計	開発技建 株式会社	令和3年3月	主任 技術者
魚沼市			

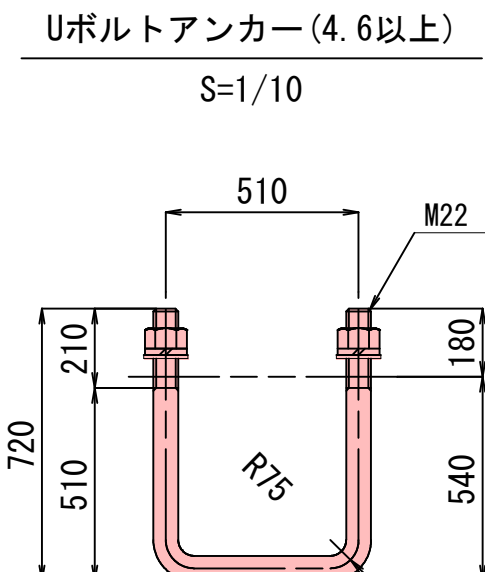
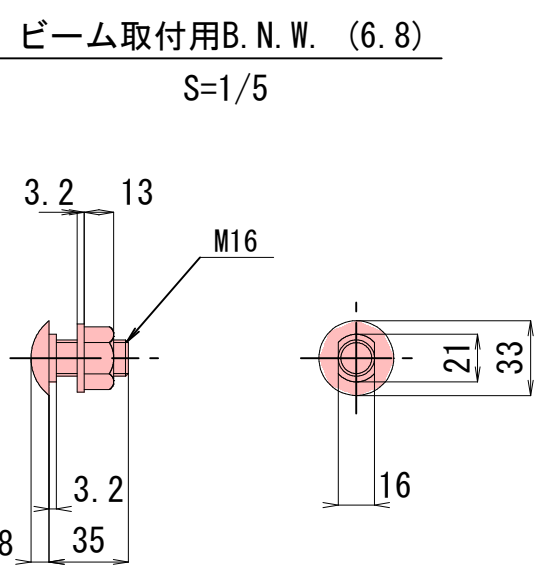
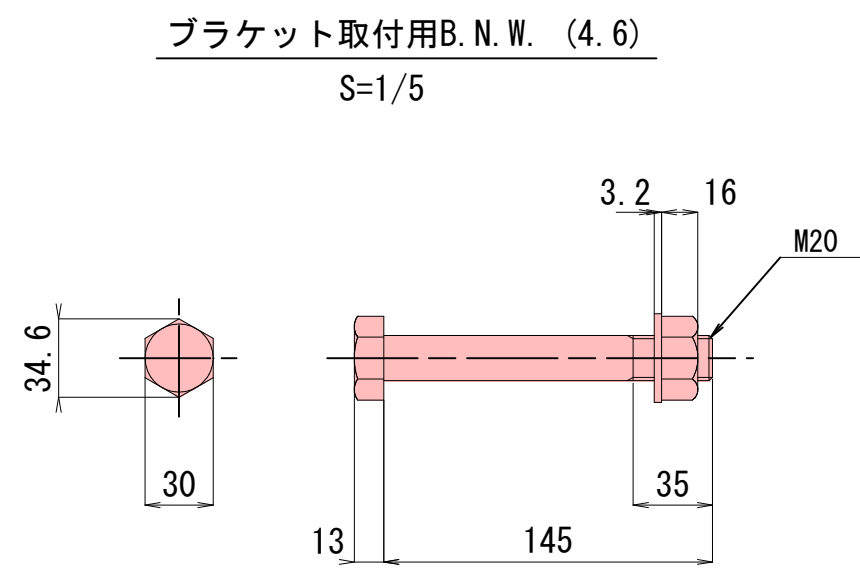
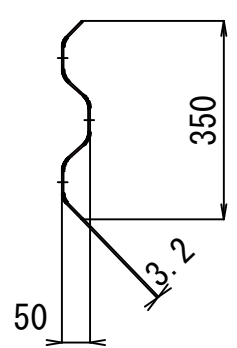
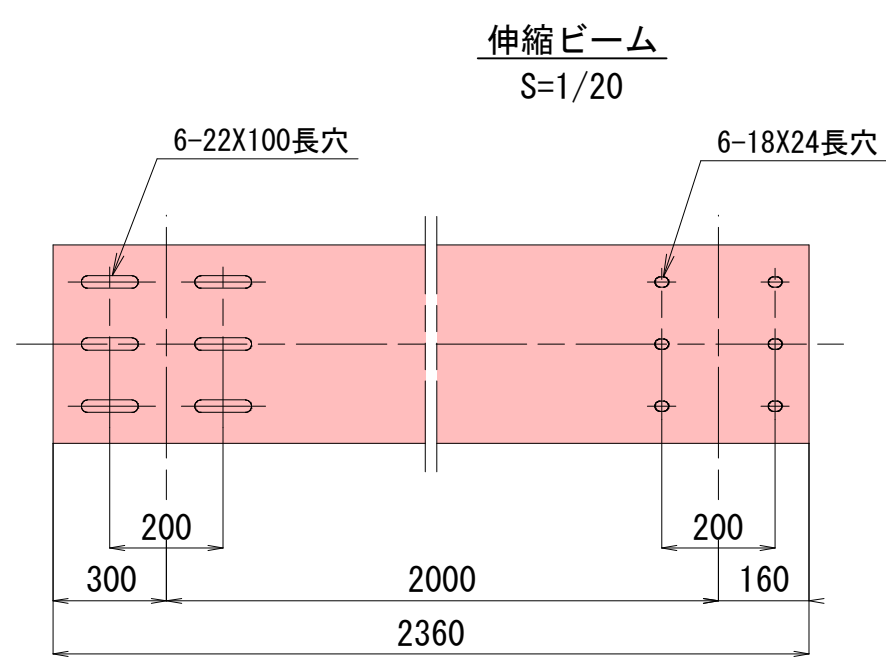
上原橋 防護柵詳細図（その2）
防護柵詳細図

正面図 A-A



注記
1) 工事の実施にあたっては現地を必ず確認し、
図面と相違がある場合は現地を優先して施
工に反映させること。
2) 本図は道路側から見た図面である。

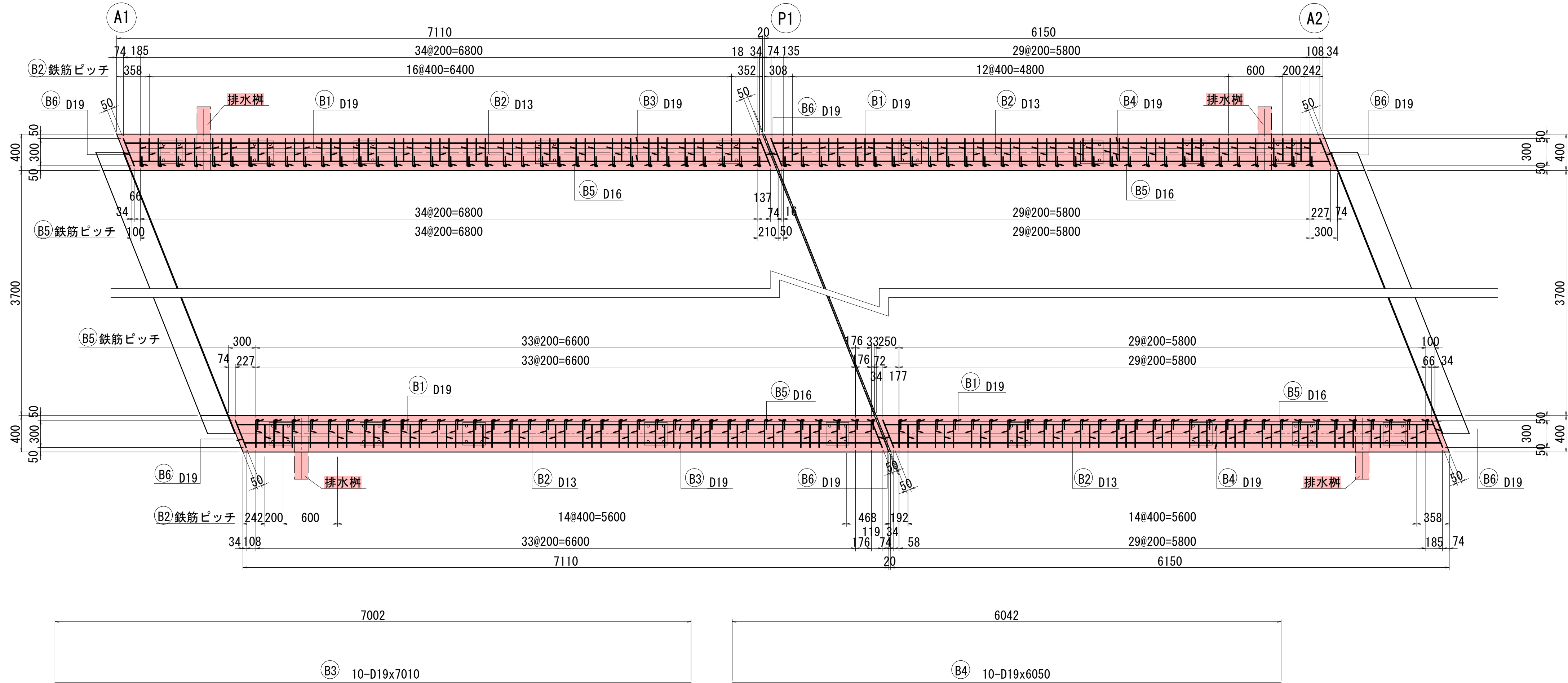
実施設計図



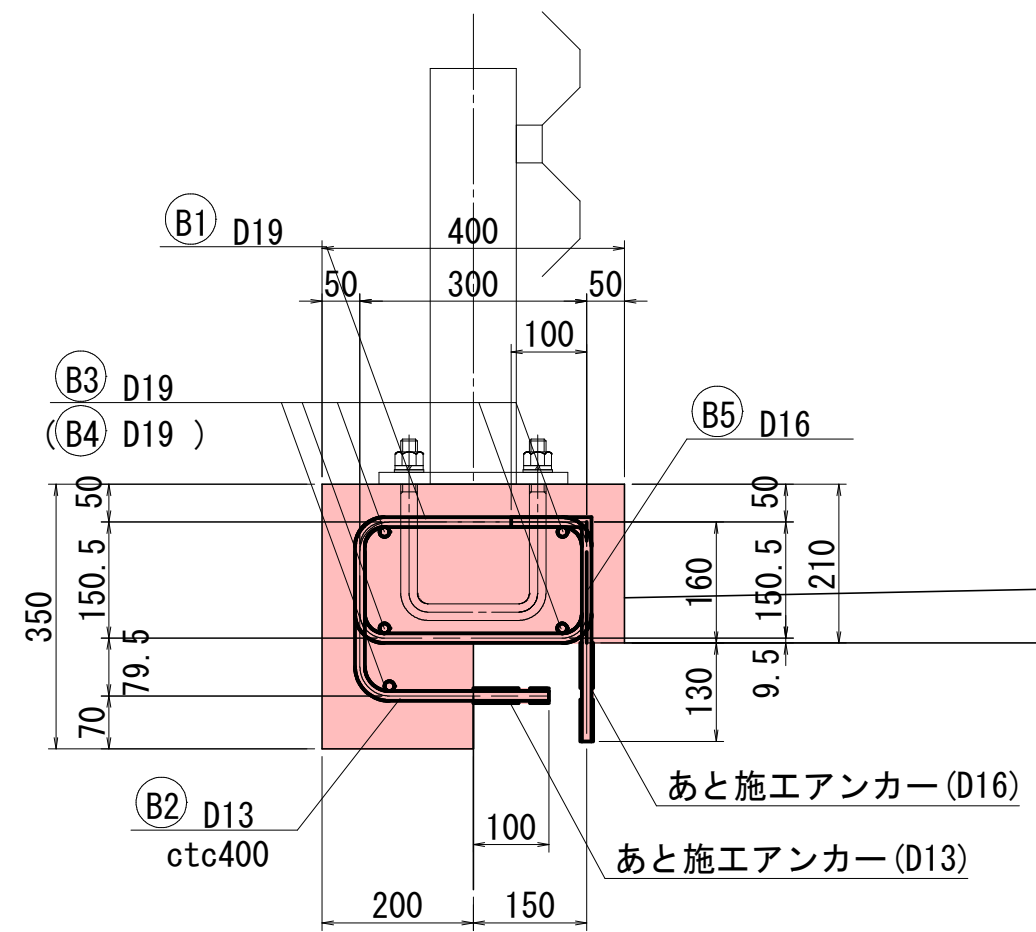
令和4年度 工事番号 4橋梁第1号			
その他市道 (線) 島北川端1号 筋	魚沼市	今泉 地内	
市道島北川端1号線 上原橋補修工事			
上原橋 防護柵詳細図（その2）			
縮 尺	図 示	図面全 12 葉 の 9	
測 量		年 月	主 任 技術者
設 計	開発技建 株式会社	令和3年3月	主 任 技術者
魚沼市			

上原橋 地覆打替図

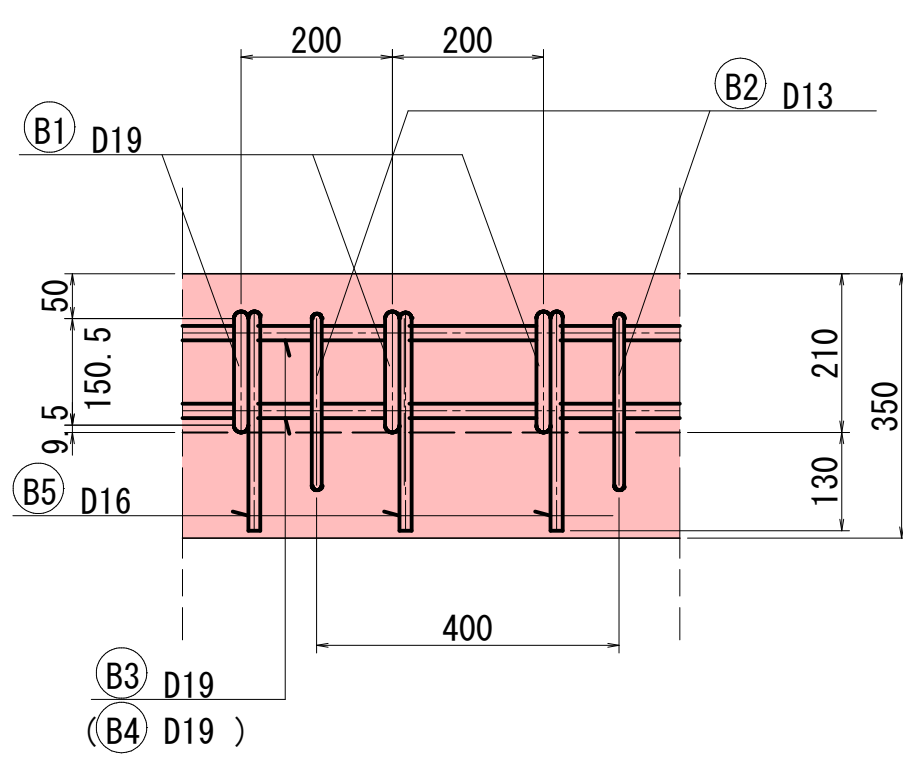
平面図 S=1:30



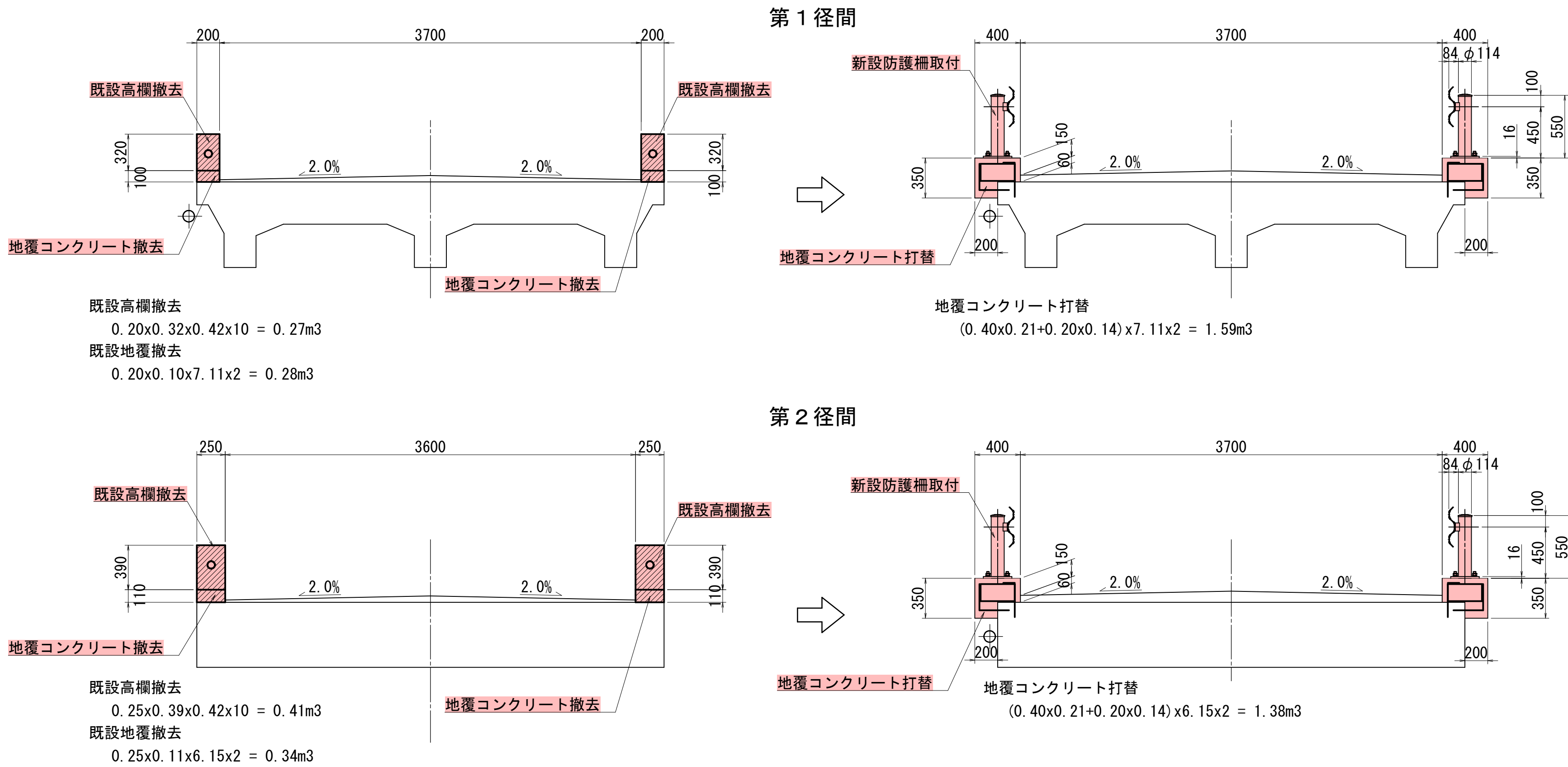
断面図 S=1:10



側面図 S=1:10



補修手順図 S=1:30



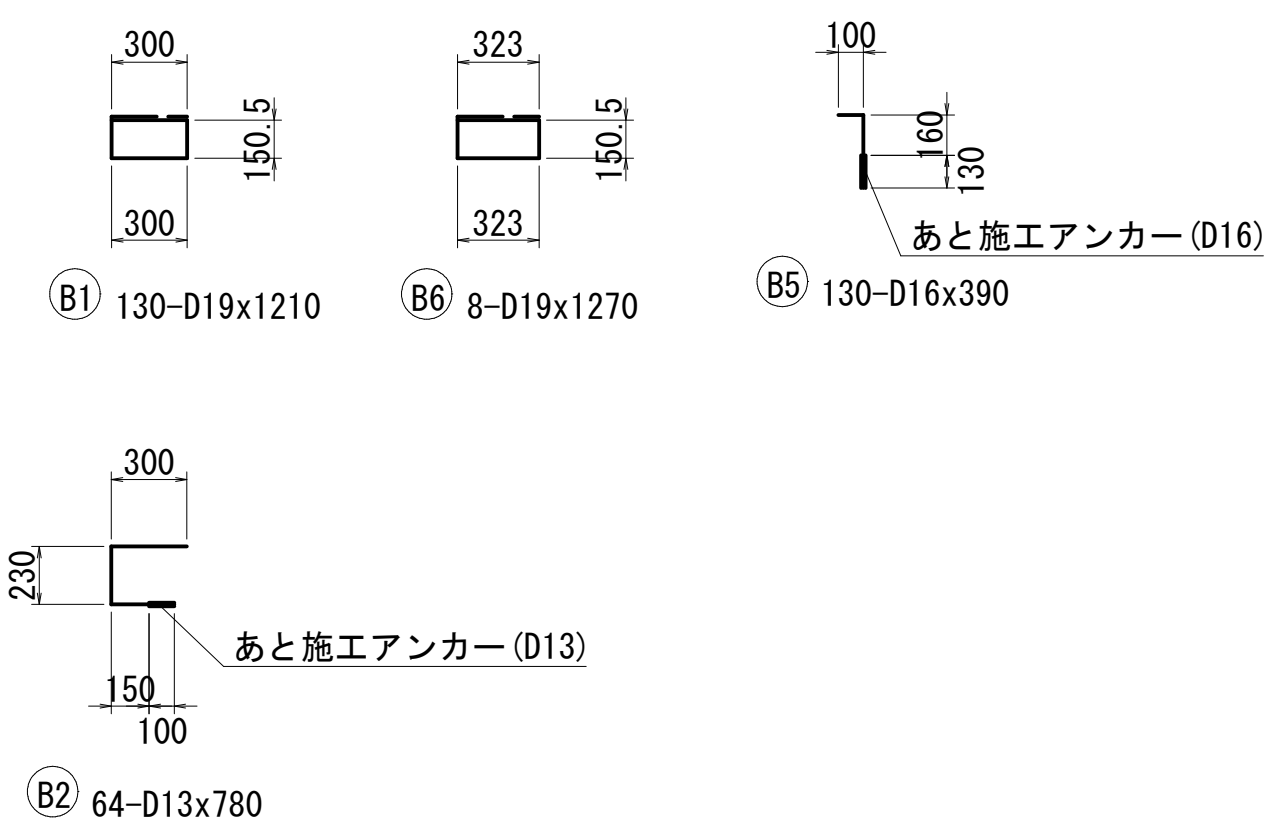
鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
B1	D19	1210	130	2.25	2.723	354	□
B2	D13	780	64	0.995	0.776	50	□
B3	D19	7010	10	2.25	15.773	158	—
B4	D19	6050	10	2.25	13.613	136	—
B5	D16	390	130	1.56	0.608	79	└
B6	D19	1270	8	2.25	2.858	23	□
						800	kg
						D19	671 kg
						D16	79 kg
						D13	50 kg
						合計	800 kg
						あと施工アンカー-D16用	130個
						D13用	64個

- 注記
- 工事の実施にあたっては現地を必ず確認し、図面と相違がある場合は現地を優先して施工に反映させること。
 - 下流側に添架管（不明管）が設置されているが、施工前に計測を行って、干渉する場合は監督員と協議の上、地覆下端が添架管と干渉しない高さとする。
 - あと施工アンカーは、樹脂注入タイプのもので、設計計算書に記載した引張強度が確保できるものを使用すること。

実施設計図

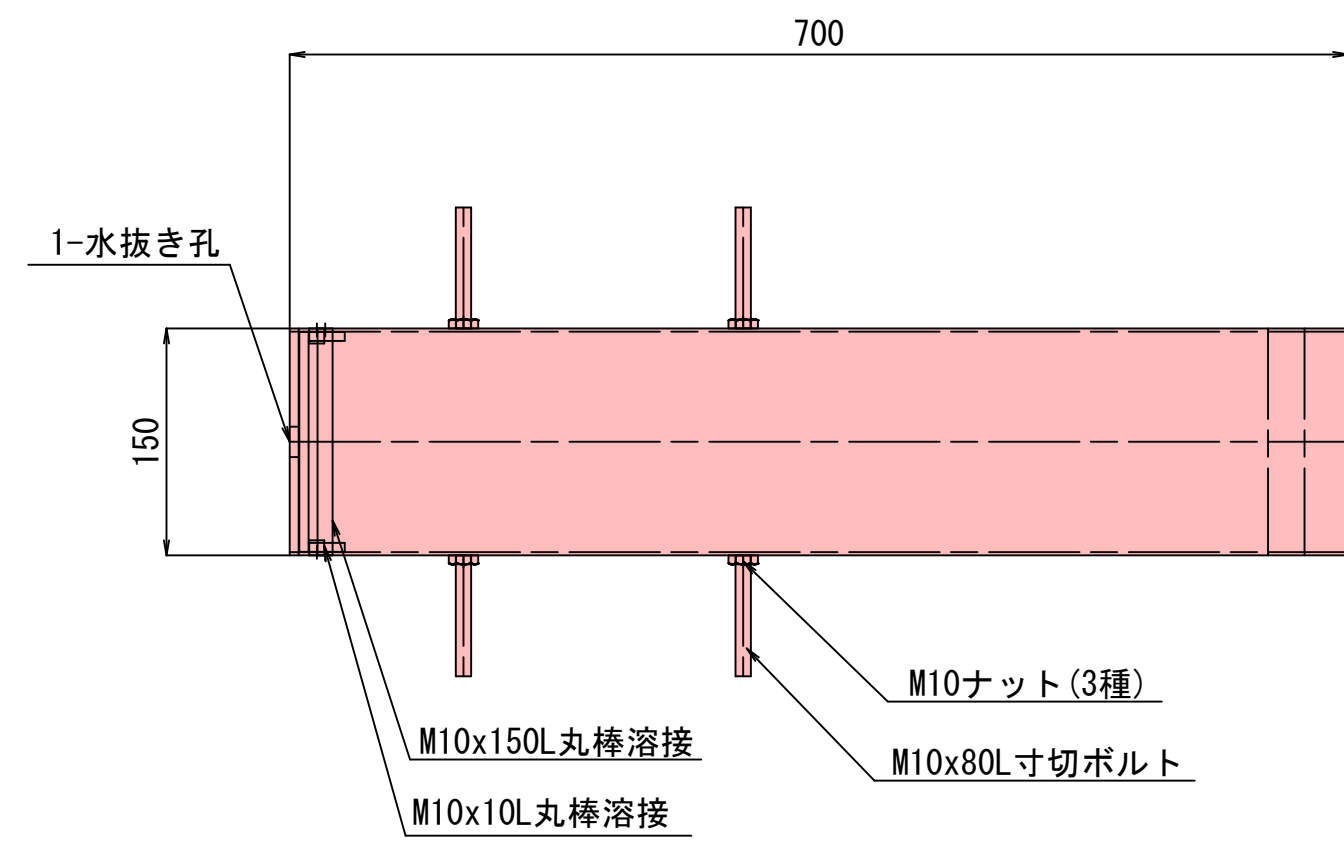
令和4年度 工事番号 4橋梁第1号			
その他市道 島北川端1号 筋	(線) 魚沼市	(町) 今泉	地内
市道島北川端1号線 上原橋補修工事			
上原橋 地覆打替図			
縮尺	図示	図面全 12 葉の 10	
測量		年月	主任技術者
設計	開発技建株式会社	令和3年3月	主任技術者
魚沼市			



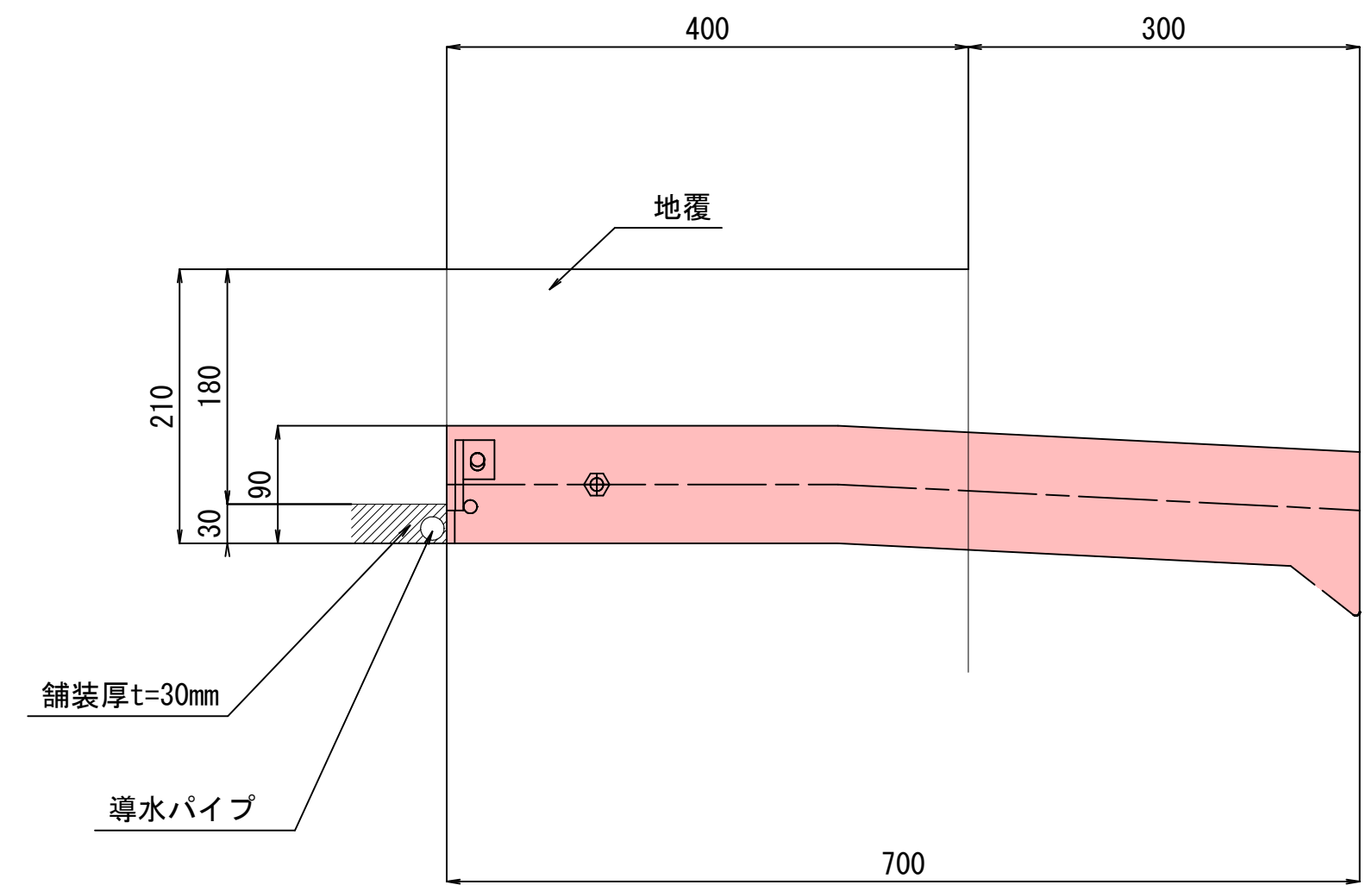
上原橋 排水柵詳細図 S=1:5

TSステンレス製排水装置

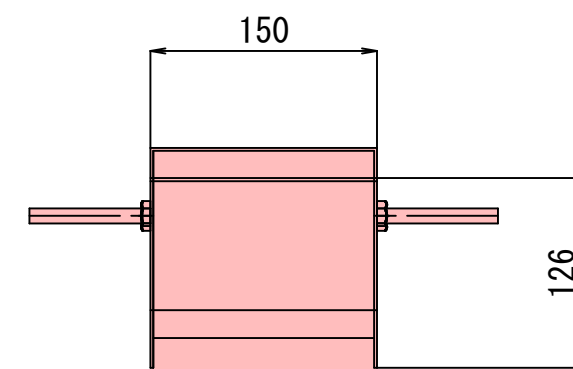
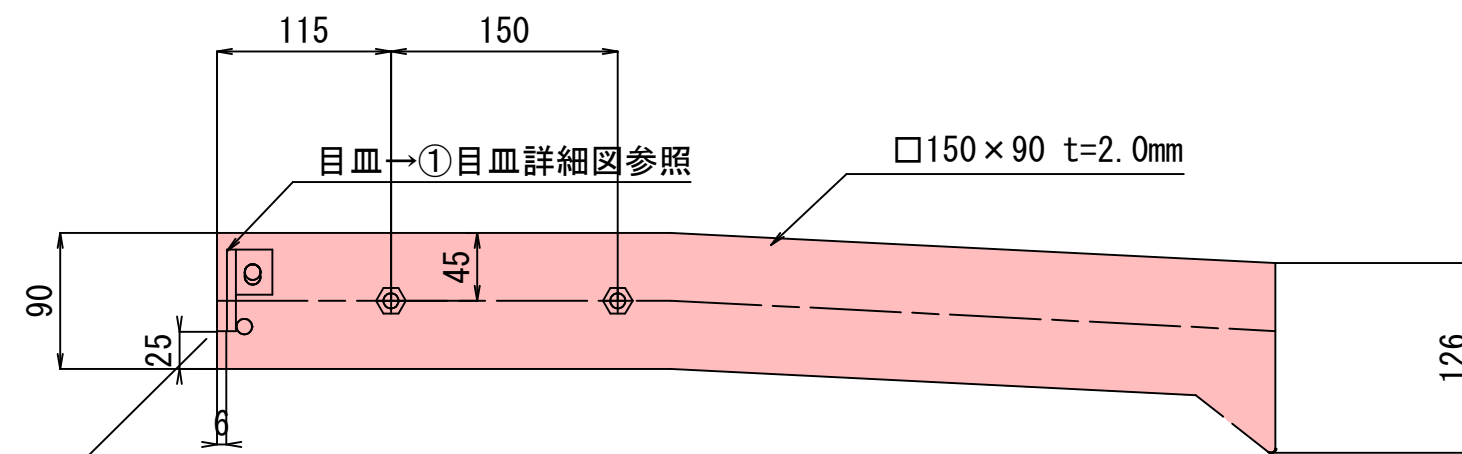
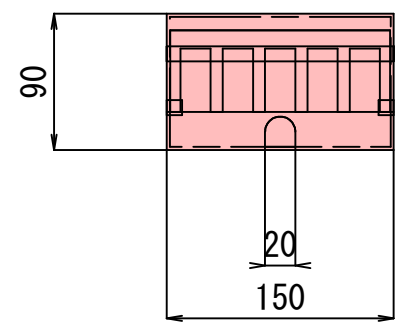
TSステンレス排水柵詳細図
TSDR-YD



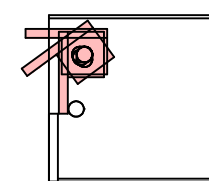
排水柵設置図



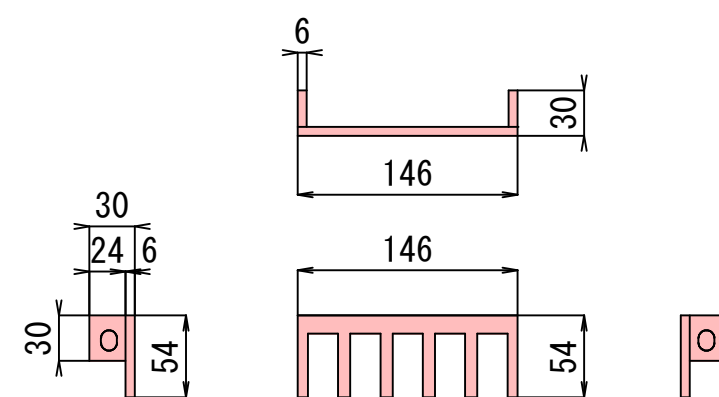
排水柵設置部の舗装厚は30mmとし、周囲の60mmの箇所とすり付けを行うこと。



目皿可動イメージ



①目皿詳細図



注記)

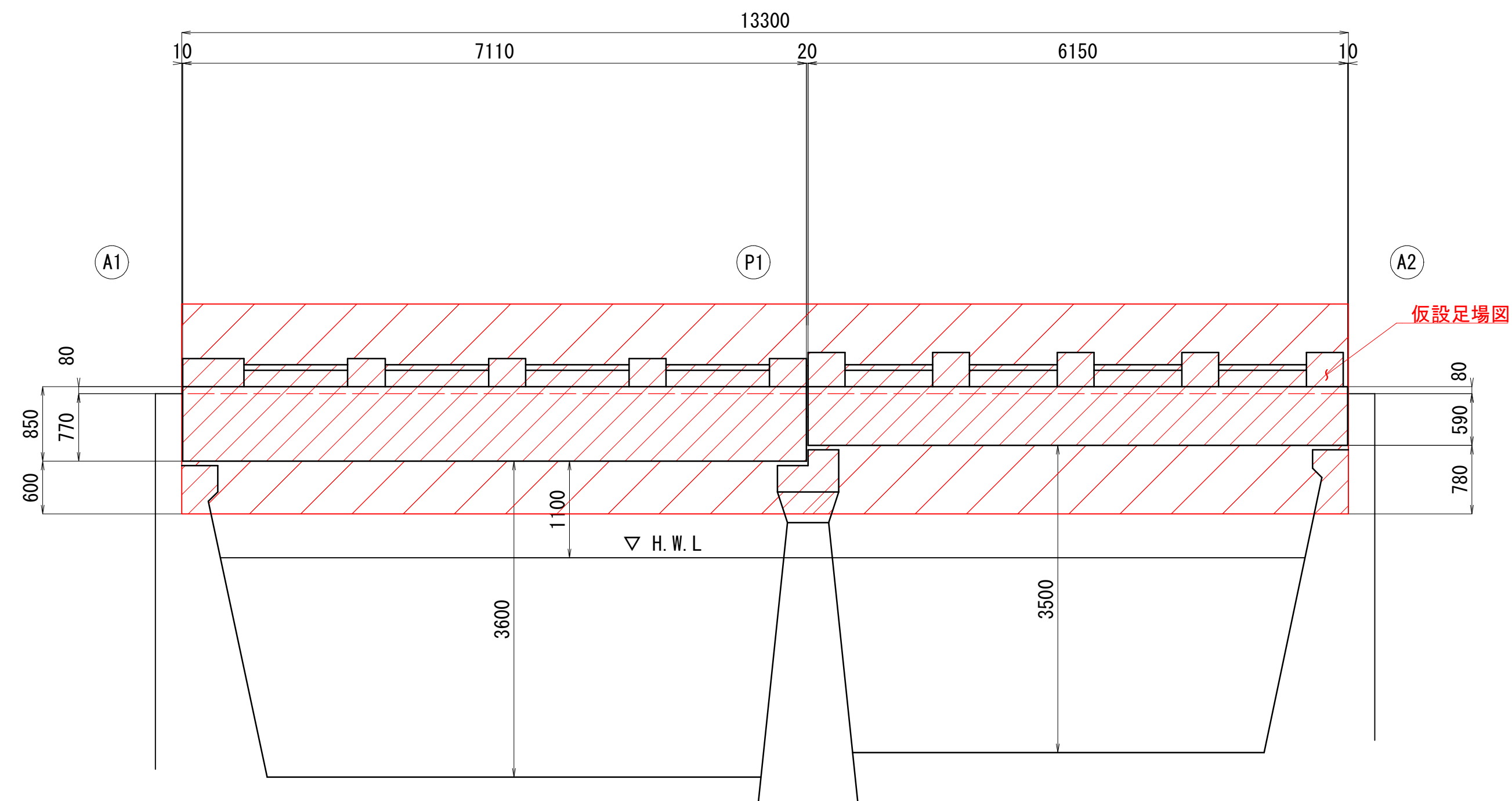
- 1) 工事の実施にあたっては現地を必ず確認し、図面と相違がある場合は現地を優先して施工に反映させること。
- 2) 特記なき材質はすべてSUS304とする。
- 3) 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
- 4) t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に耐食性向上の措置を講じる。
- 5) 現地調査にて寸法確定後製作する。
- 6) 地覆打ち替え時に設置すること。

実施設計図

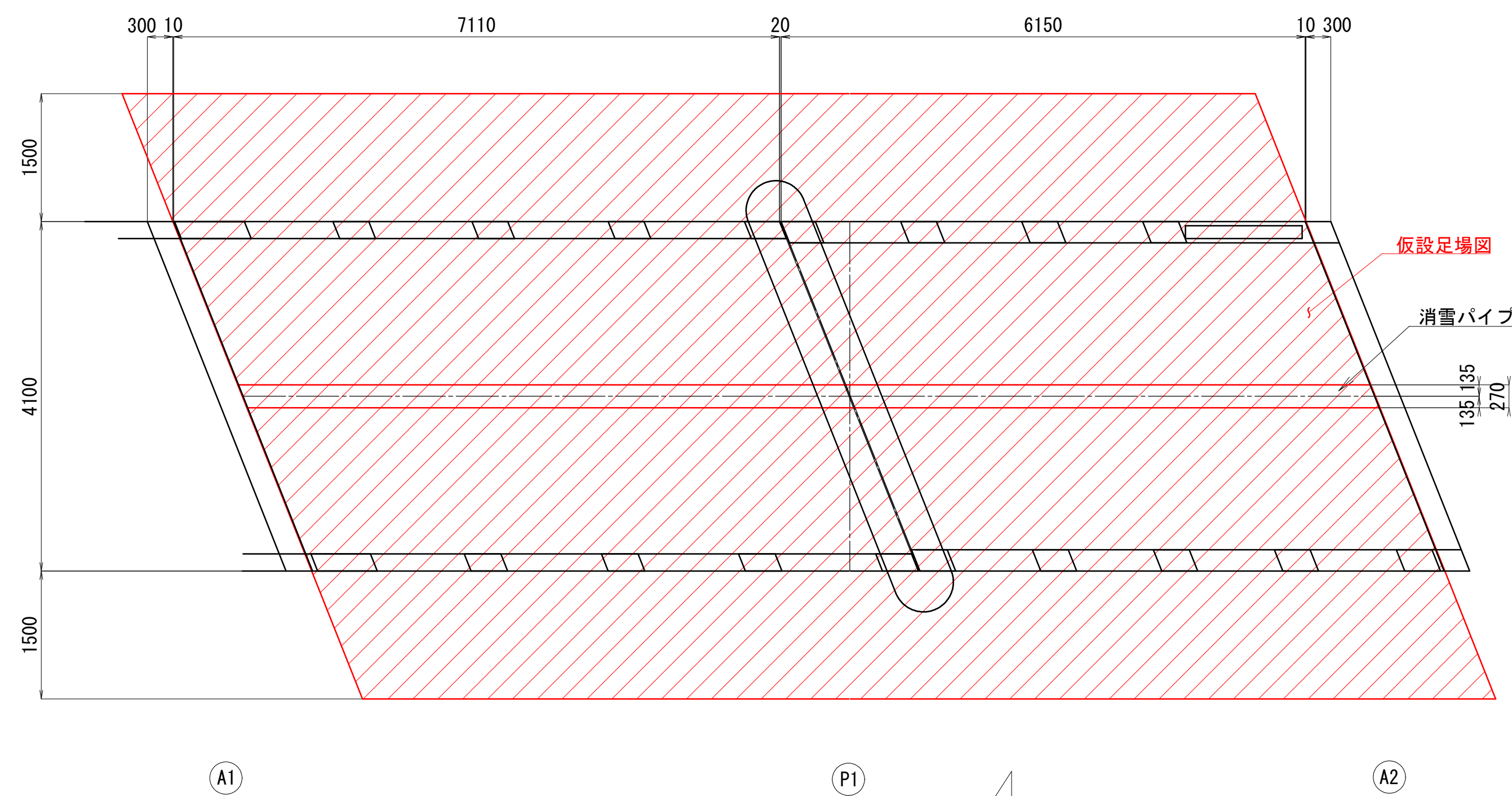
令和4年度 工事番号 4橋梁第1号				
その他市道 島北川端1号	線 筋	魚沼市	町 今泉	地内
市道島北川端1号線 上原橋補修工事				
上原橋 排水柵詳細図				
縮尺	S=1:5	図面全	12 葉の	11
測量		年 月	主任 技術者	
設計	開発技建 株式会社	令和3年3月	主任 技術者	
魚沼市				

上原橋 仮設足場図【参考図】
(地覆補修用足場兼吊り足場)

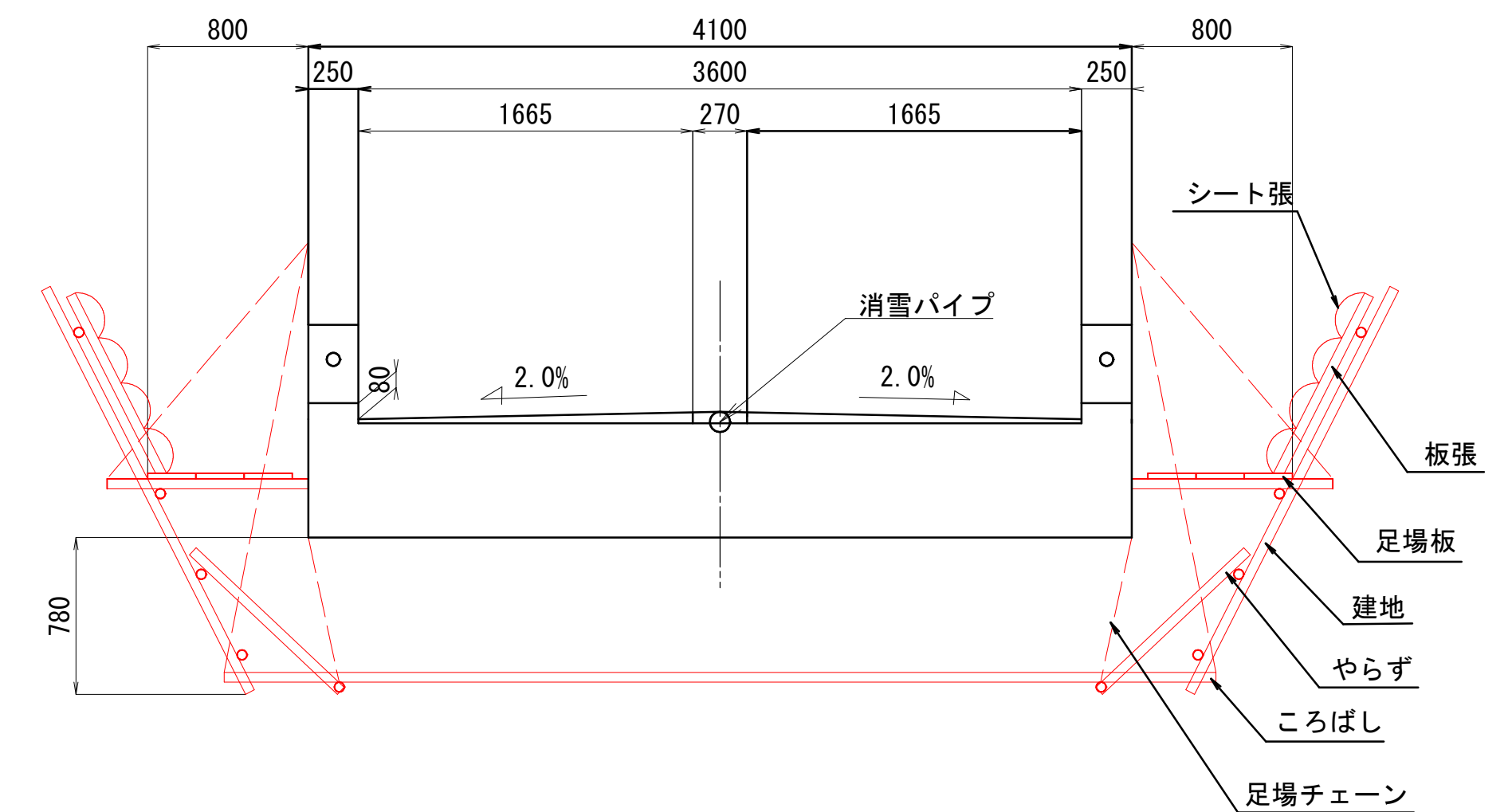
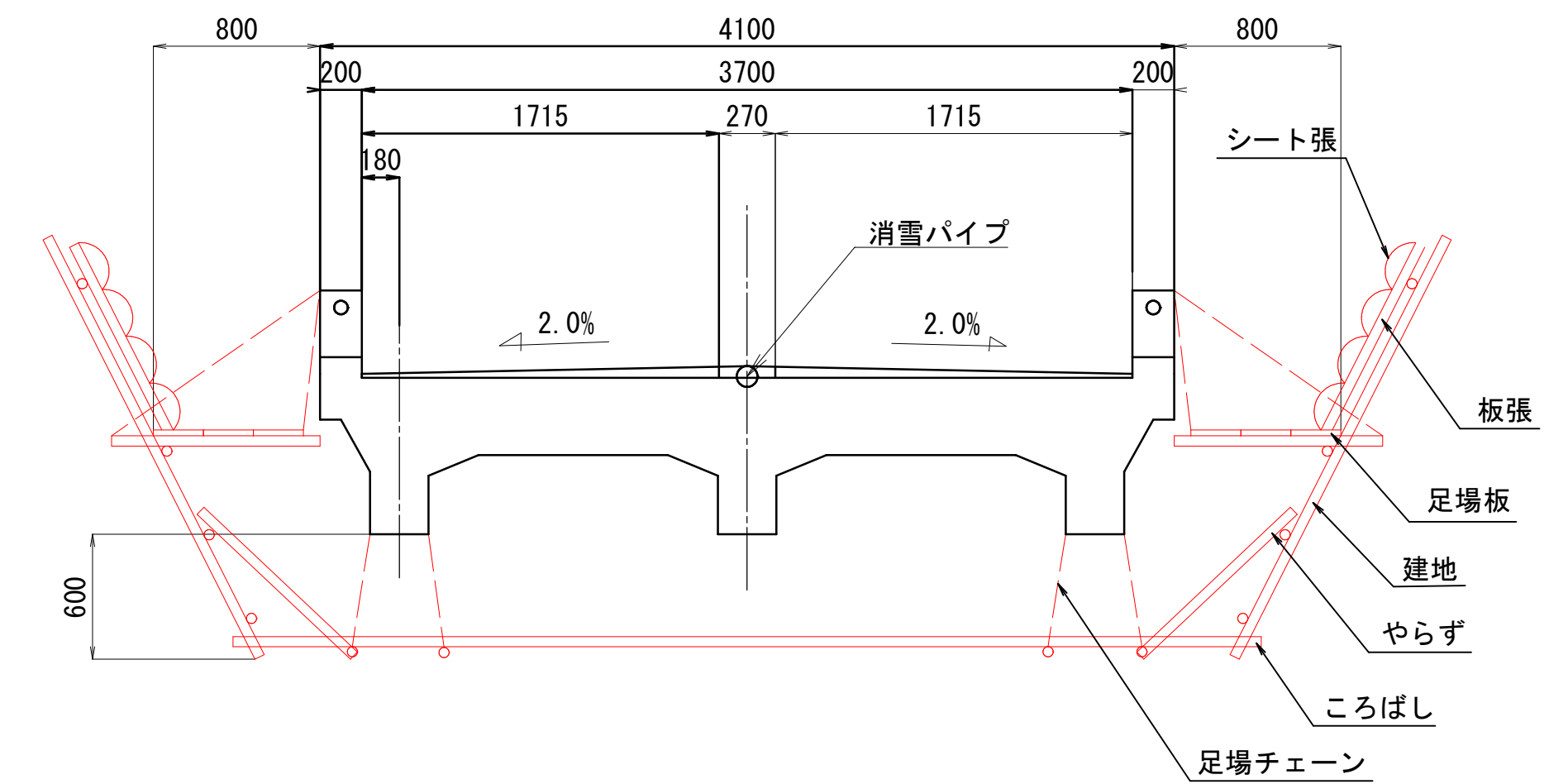
側面図 S=1:50



平面図 S=1:50



断面図 S=1:30



- 注記)
1. 実際の足場形状は現地状況を確認の上、決定すること。
 2. 足場は、計画高水位を侵さないこと。

参 考 図

上部工補修用吊足場数量

	幅 (m)	延長 (m)	面積 (m2)	備 考
橋梁地覆補修工用吊足場 タイプE	2.36	13.3	31.4	
PC橋補修用足場工	4.10	13.3	54.5	

足場数量の算出は「橋梁架設工事の積算 R2 (社) 日本建設機械施工協会」に基づいて算出

令和4年度 工事番号 4橋梁第1号				
その他市道 (線)	魚沼 町	今泉	地内	
島北川端1号 筋	筋	筋	筋	
市道島北川端1号線 上原橋補修工事				
上原橋 仮設足場図【参考図】				
縮 尺	図示	図面全 12	葉の 12	
測 量		年 月	主任 技術者	
設 計	開発技建 株式会社	令和3年3月	主任 技術者	
魚沼市				